

歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和5年9月26日

独立行政法人水資源機構

香川用水管理所長 南保 正俊

1. 目的

この参考見積依頼は、香川用水施設緊急対策事業で予定している工事の積算の参考とするために依頼するものです。

なお、この参考見積依頼は、工事等の指名（若しくは競争参加資格）をお約束するものではありません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出してください。記載様式には1次単価までしか記載していませんが、必要に応じて2次単価以降の詳細も記載願います。なお、参考見積の様式は別紙-2の様式を参考にしてください。
- (2) 提出期間：令和5年9月26日（火）から令和5年10月13日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く
午前8時30分から午後5時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構 香川用水管理所長 南保 正俊 宛
【担当】建設グループ 四宮
〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井891-2
TEL 0877-73-4225 FAX 0877-73-4226
- (4) 提出方法
書面は持参、郵送、FAX又はメール（社印があること）により提出するものとします。

4. 参考見積内容

- (1) 見積内容
鋼製戸溝、鋼製ピット蓋の製作費・据付作業歩掛
※構造等の詳細は別添参考図を参照

(2) 製作費

名称	規格	数量	備考
鋼製戸溝	SUS304 200*138*2700、酸洗い処理、水密板、パッキン、アンカーボルト、ナットを含む	2 基	別添参考図等参照
鋼製ピット蓋	SS400 □800*800 用、溶融亜鉛メッキ仕上げ、桁、アンカーボルト、ナットを含む	1 基	別添参考図等参照

(3) 作業項目、作業内容（歩掛）

1. 作業範囲は、鋼製戸溝、鋼製ピット蓋据付に係る作業の一切とします。

作業項目	作業内容	作業数量	備考
既設構造物調査	鋼製戸溝、鋼製ピット蓋の設置予定箇所の既設構造物を詳細に測定し、製作に必要な寸法を把握する。ただし、鉄筋探査は含まない。	1 式	
据付	鋼製戸溝、鋼製ピット蓋の据付（削孔、アンカーボルト設置、重機での吊込み、素地調整、止水処理、調整モルタル等現場での微調整等を含む）	1 式	

※その他に必要な作業がある場合は別紙－2を参考に欄を作成し、記載してください。

(4) 据付補助材料費及び機械経費

据付に係る据付補助材料費率、機械経費率を明示してください。

据付補助材料費及び機械経費は、それぞれの率を直接人件費に乗じた金額を計上します。

(5) 工事費の構成及び歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記（3）「作業項目、作業内容」を実施する為に必要な作業員（技術者）の人数等を徴取します。

(6) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和5年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

5. 歩掛参考募集要領に対する質問

この依頼書に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和5年9月26日（火）から令和5年9月29日（金）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く
午前8時30分から午後5時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：質問提出期限の翌日から見積書提出期間終了まで
- (2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

9. その他

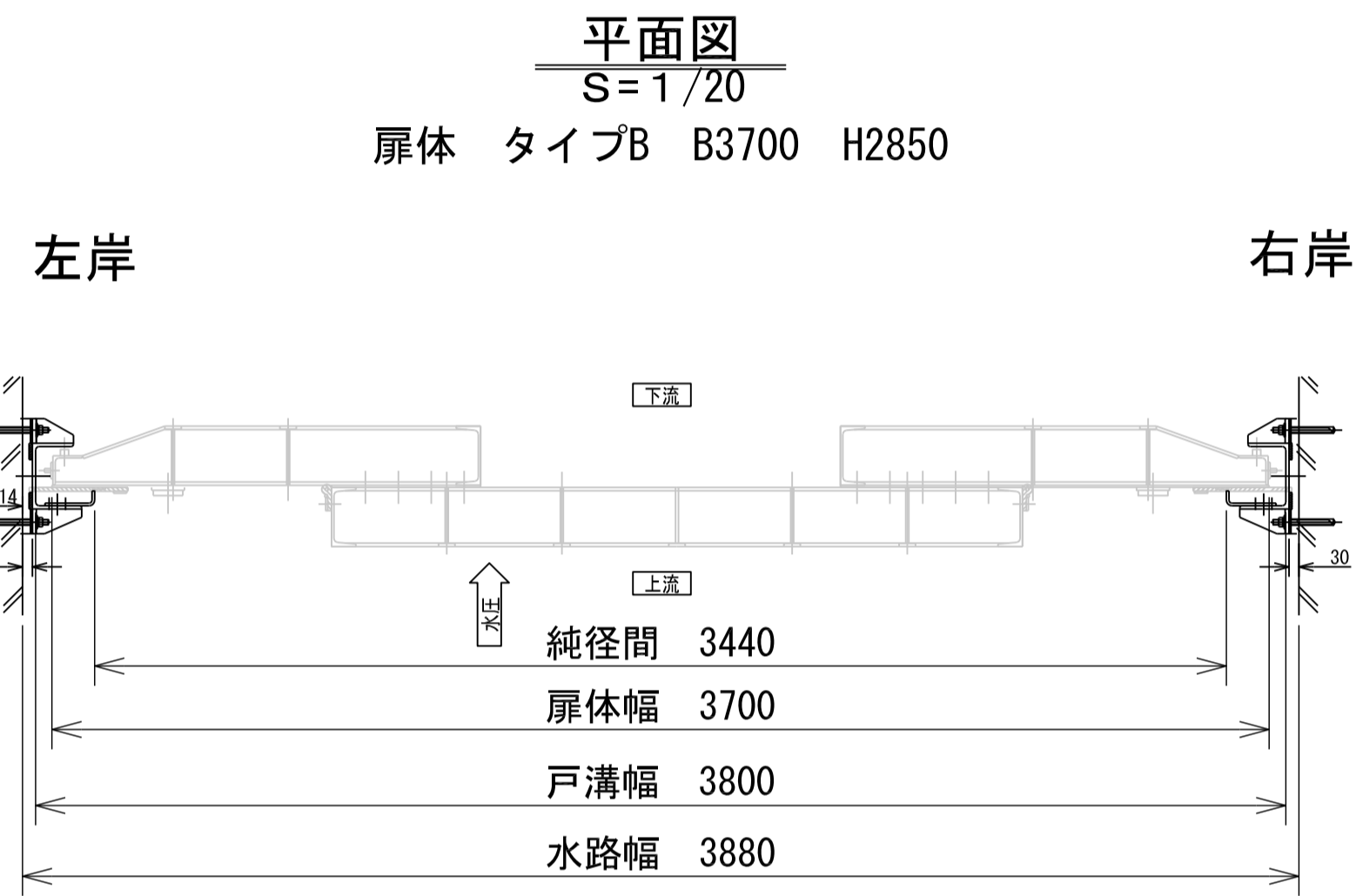
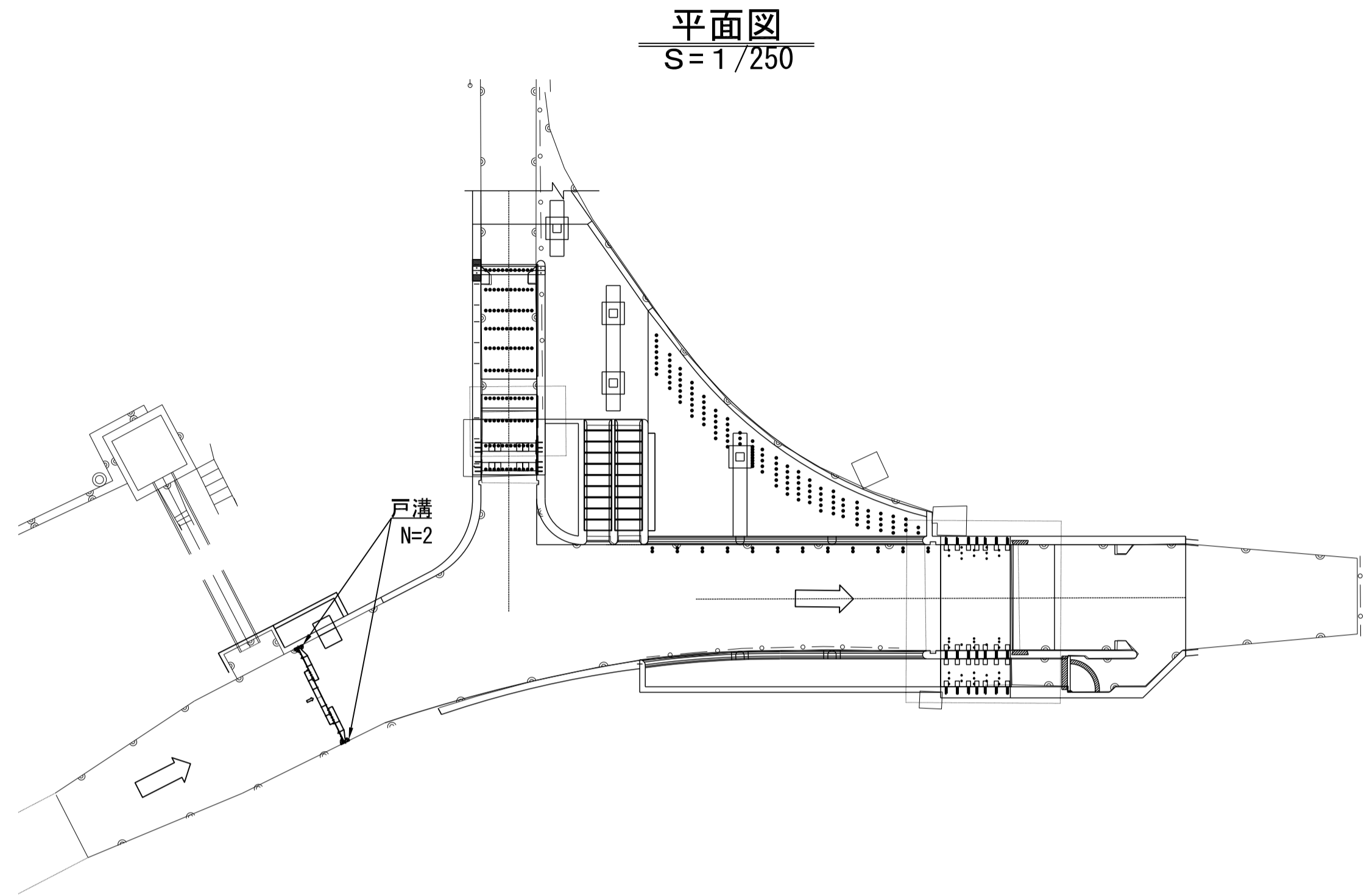
この参考見積書をご提出いただいたことで、資材購入等をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

-以上-

指定仮設工 仮締切ゲート 戸溝計画図
土器川調節堰 S=1:20

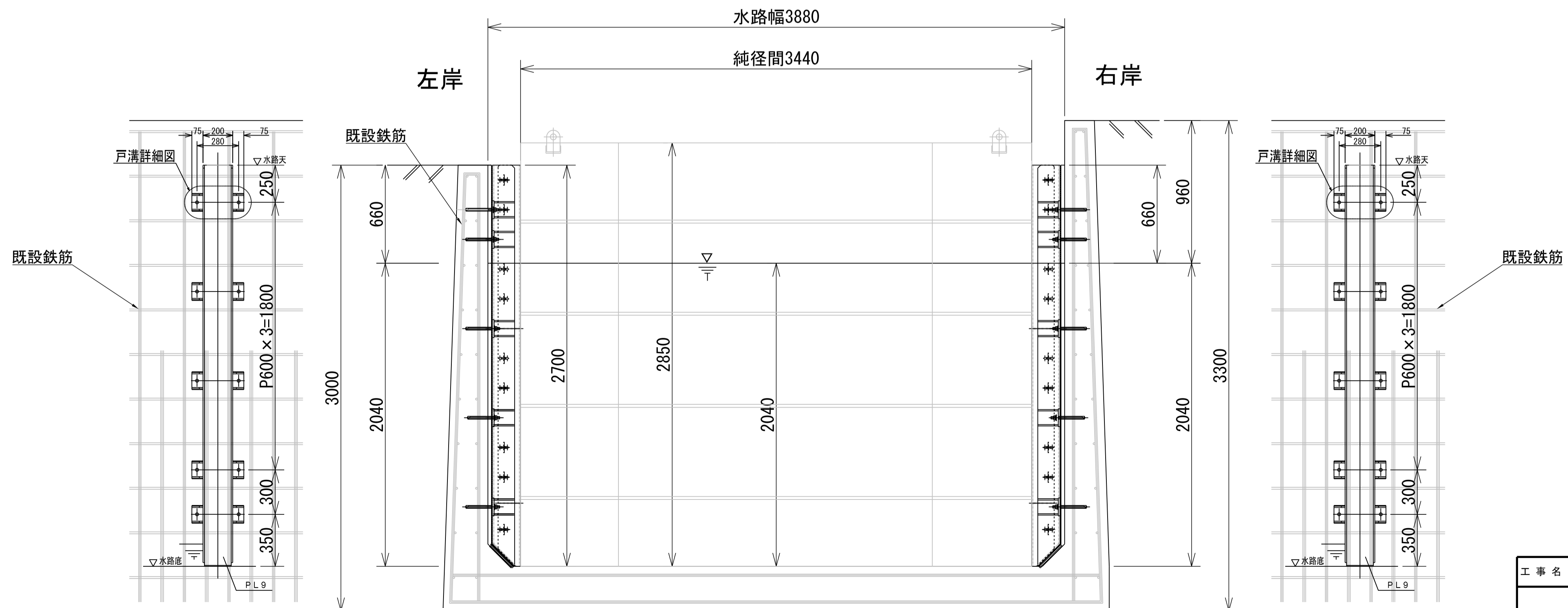
2.単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。



左岸正面図
S=1/20

断面図
S=1/20

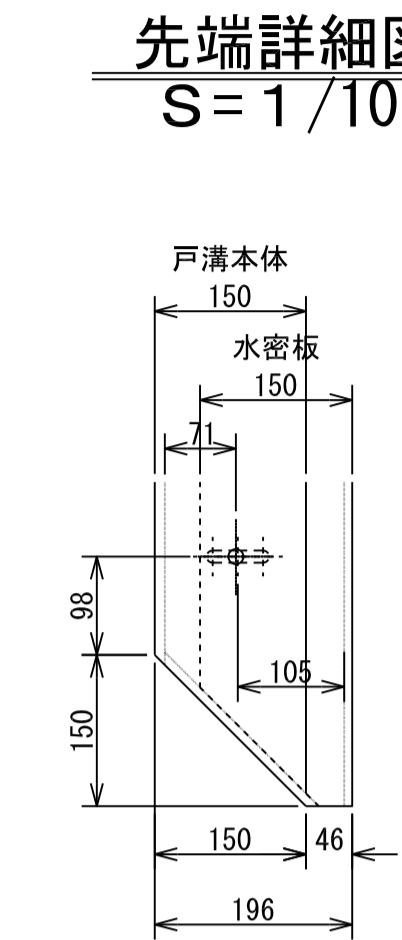
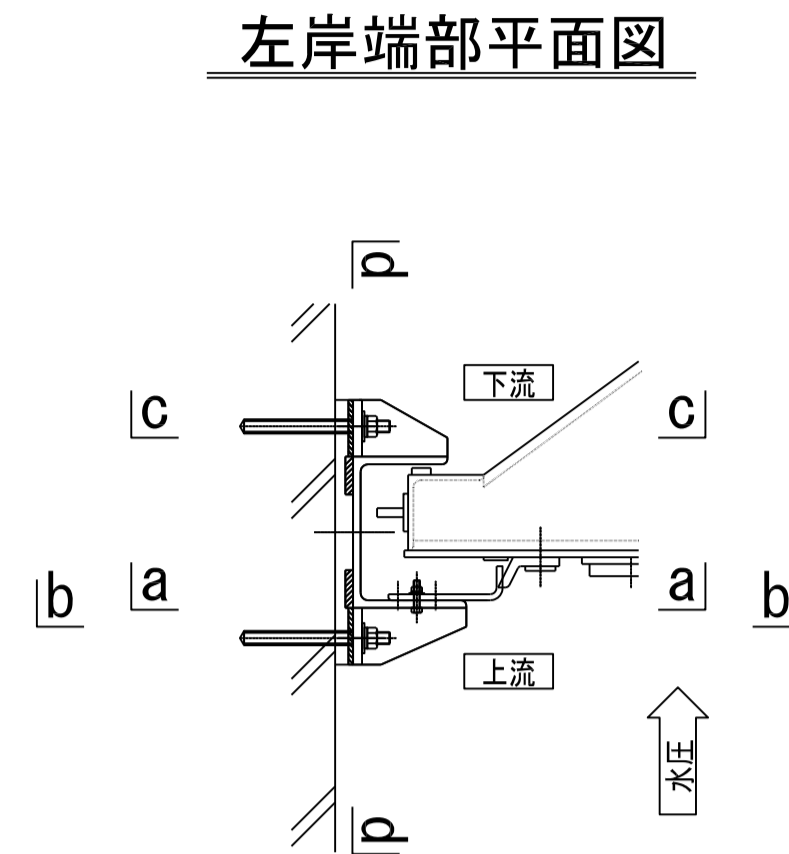
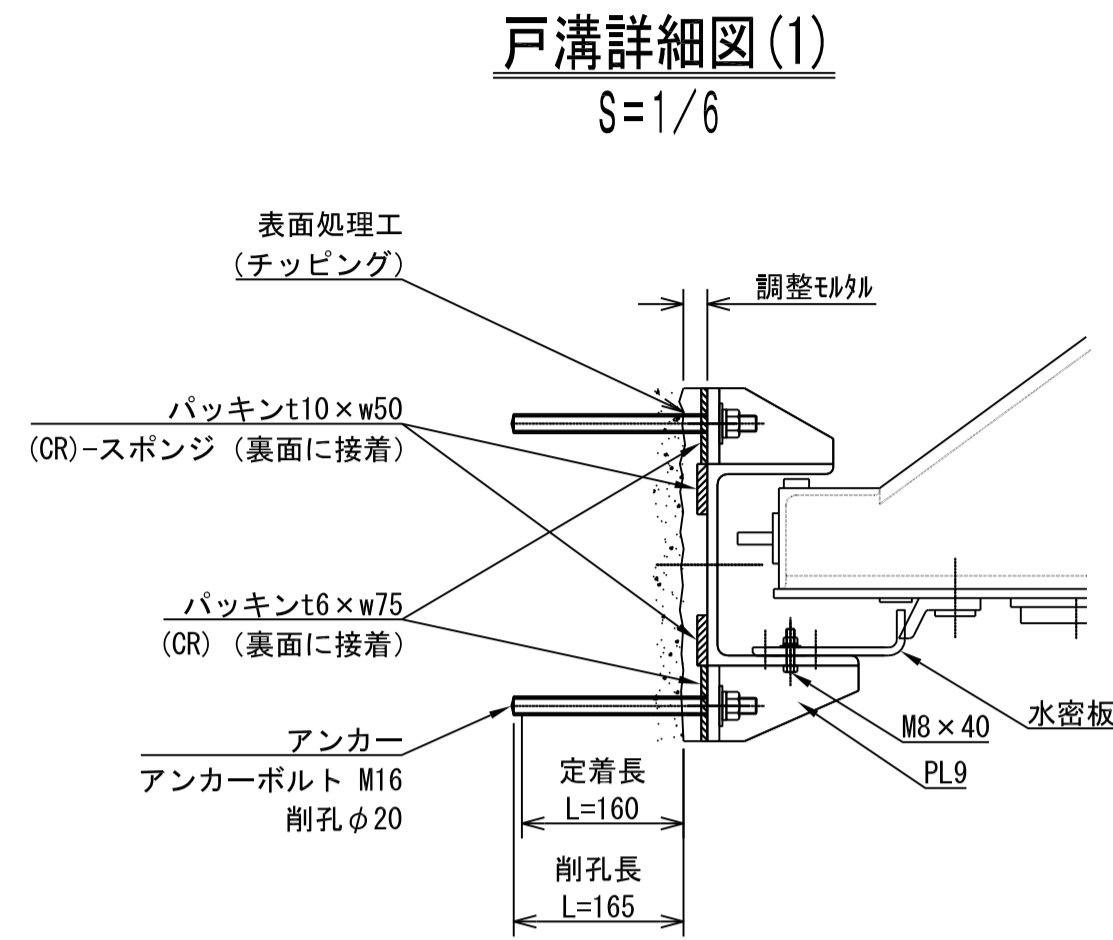
右岸正面図
S=1/20



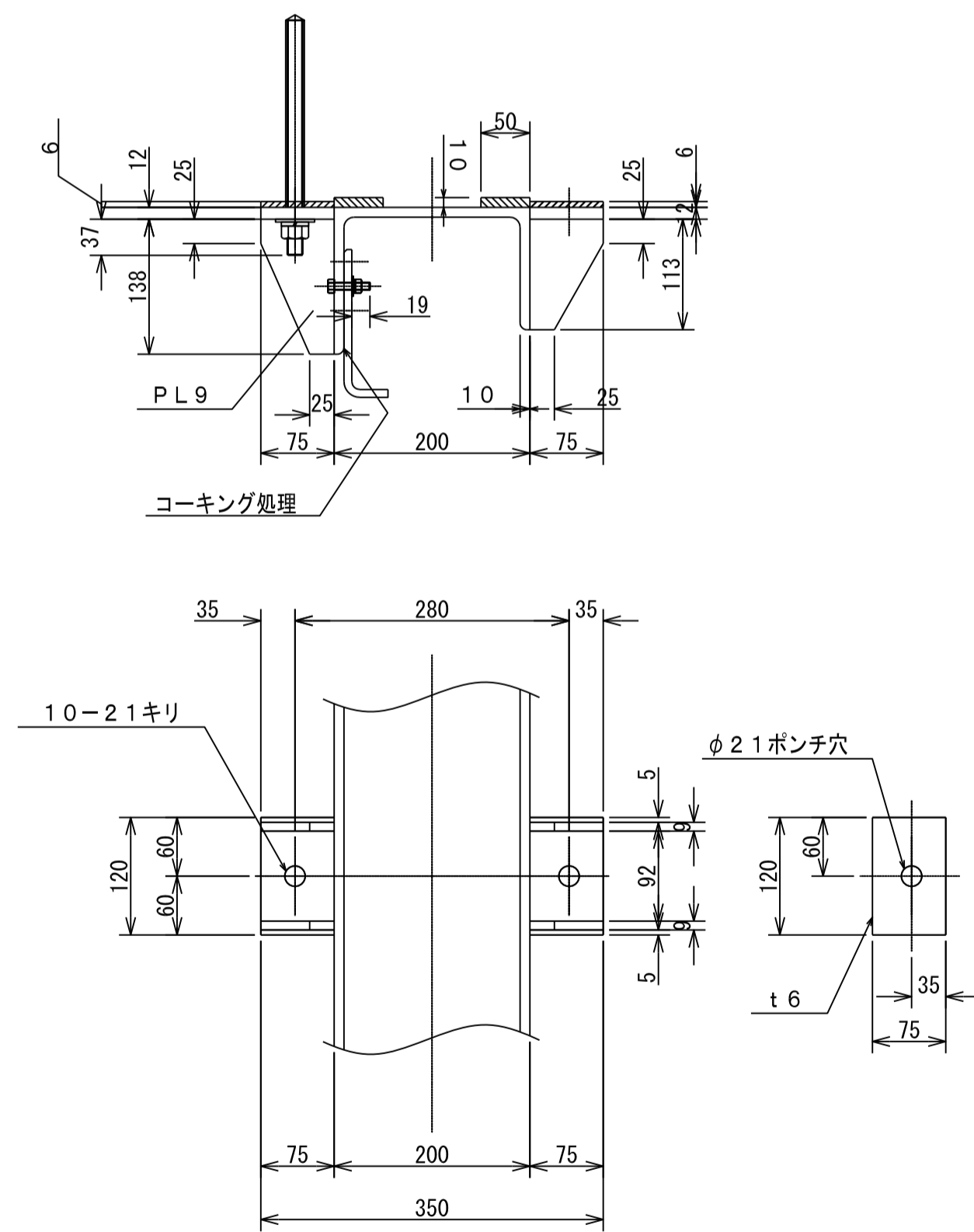
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

指定仮設工 仮締切ゲート 戸溝詳細図(1)
土器川調節堰(左岸) S=図示

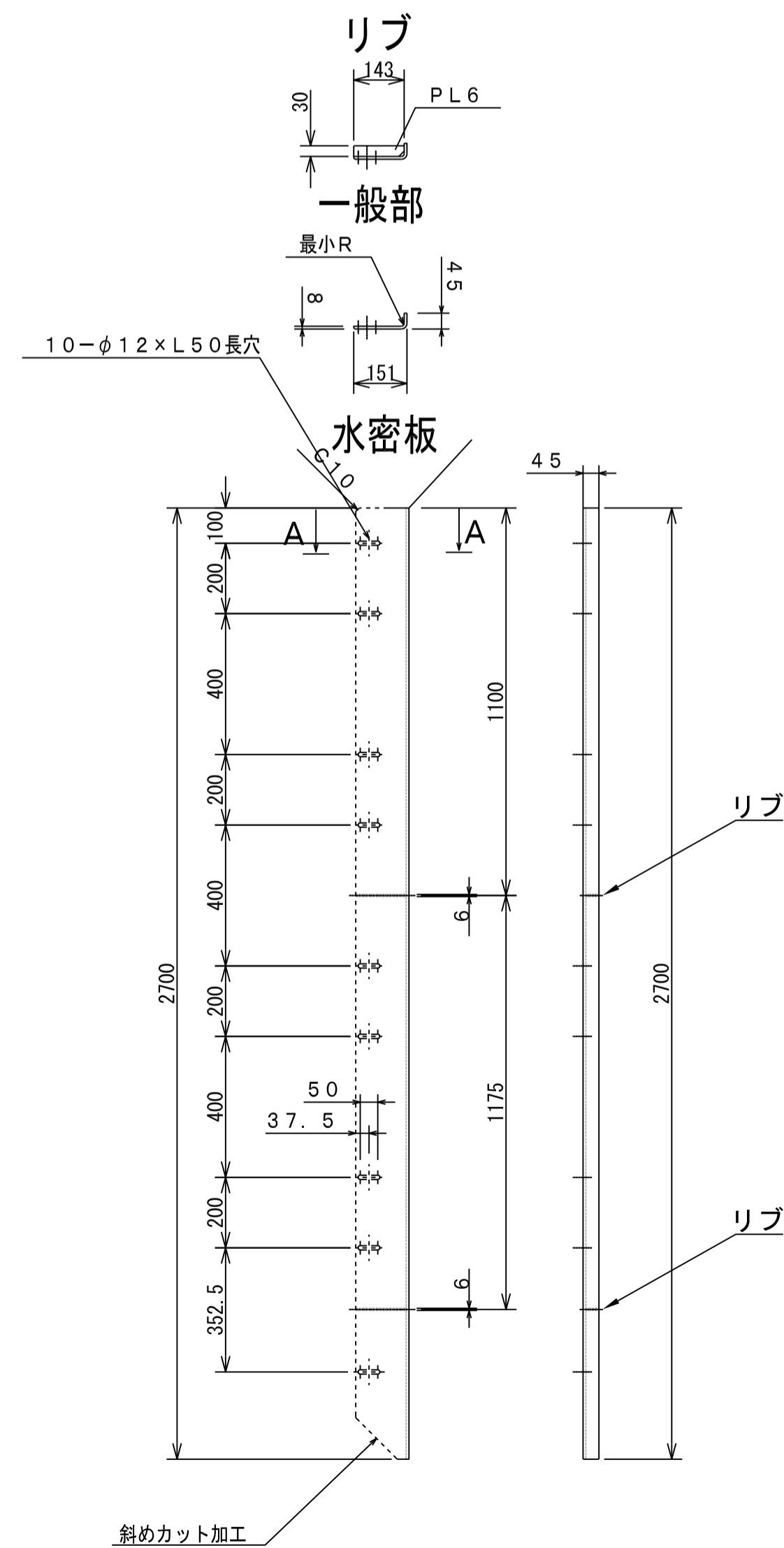
注意事項



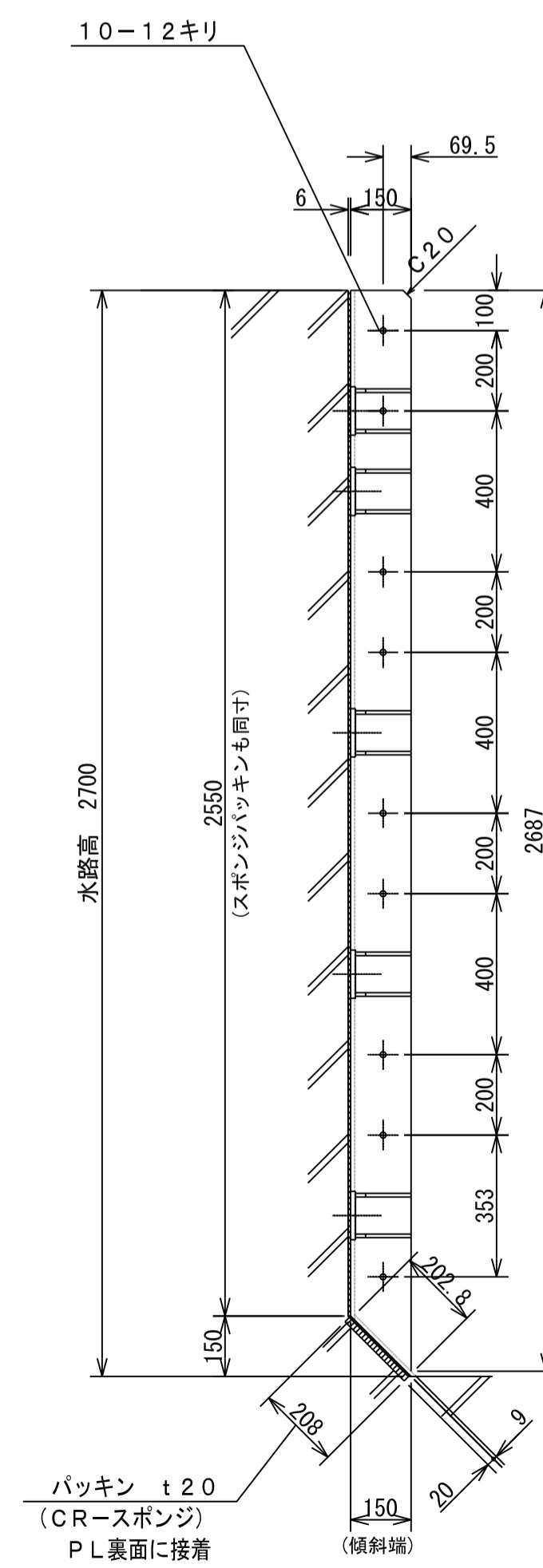
戸溝詳細図(2)
S=1/6



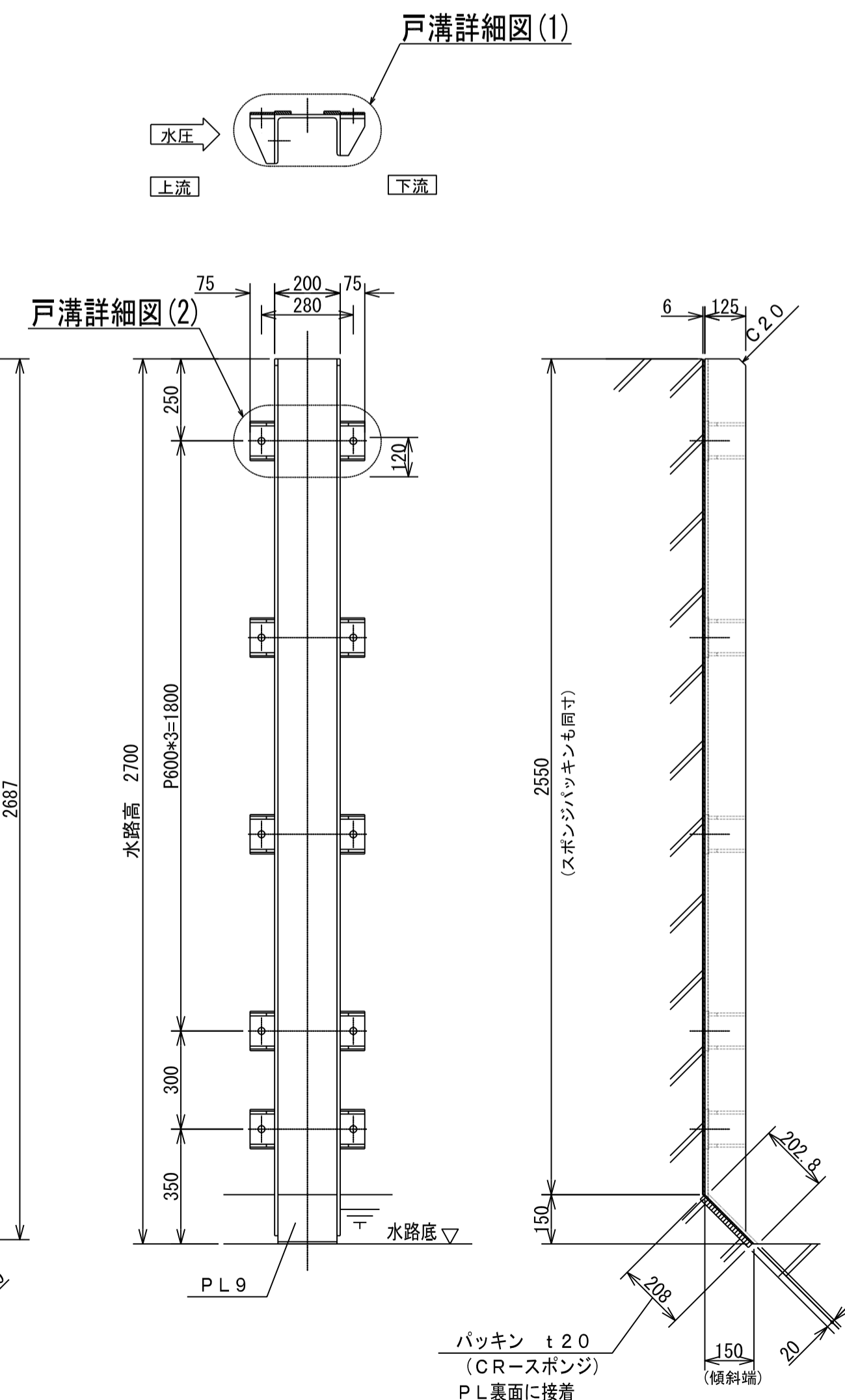
a-a断面
S=1/15



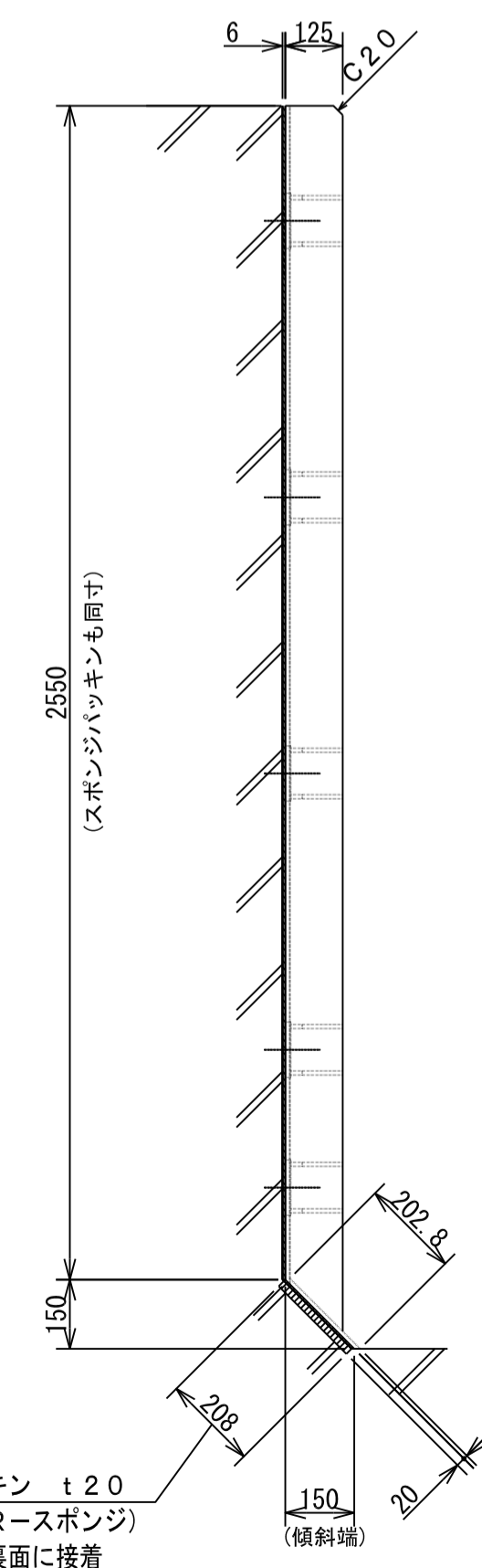
b-b断面
S=1/15



d-d断面
S=1/15



c-c断面
S=1/15

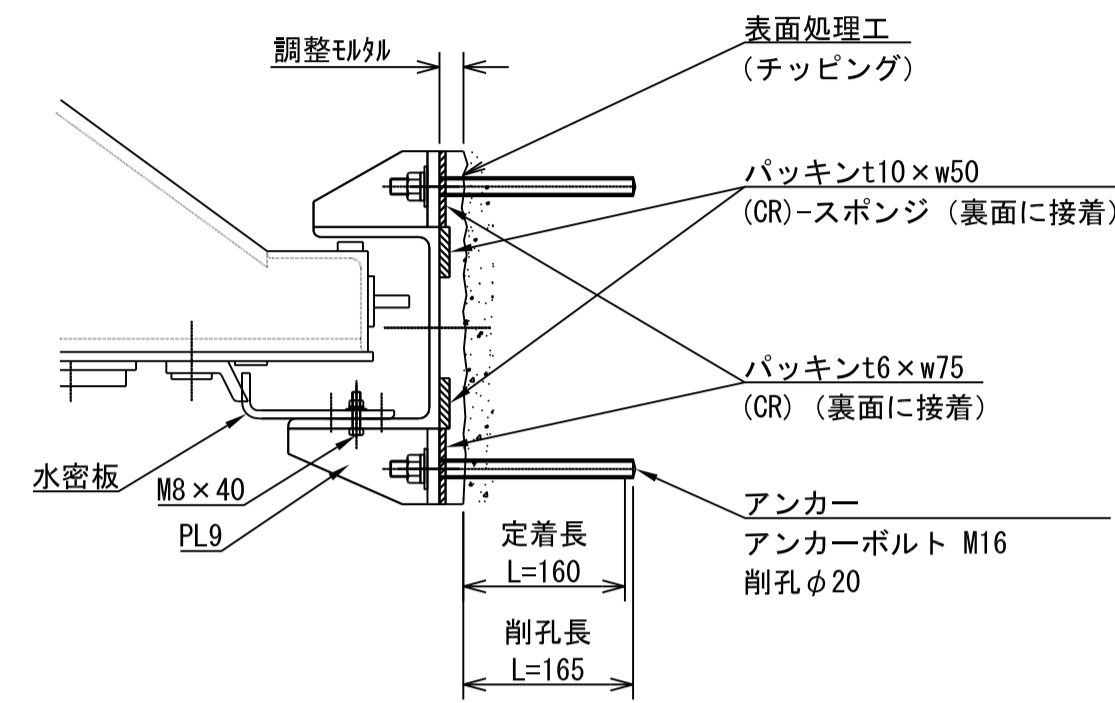


- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 鋼材
1) 特記なき材質はSUS304とする。
2) 特記なき溶接部は $\sqrt{0.7t}$ を標準とする。
- 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探査等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。
- 製作、施工
製作、施工は現地計測後、製作図面、施工図面を製作し、監督員の承諾を得るものとする。
寸法のない形溶接の表示のある箇所は完全溶け込み溶接とする。
- 仕上げ
仕上げは、すべて酸洗い仕上げとする。
- アンカー
あと施工アンカーは接着系注入方式を用いるものとする。
アンカー削孔時は、既設鉄筋配置及び部材厚を確認の上、削孔位置図を作成し、監督職員の承諾を得て削孔するものとする。

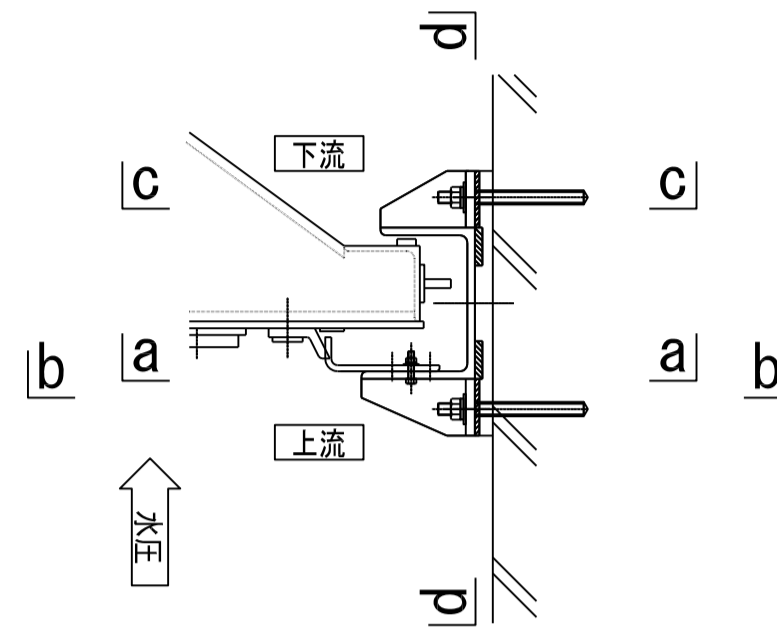
工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

指定仮設工 仮締切ゲート 戸溝詳細図 (2)
土器川調節堰 (右岸) S=図示

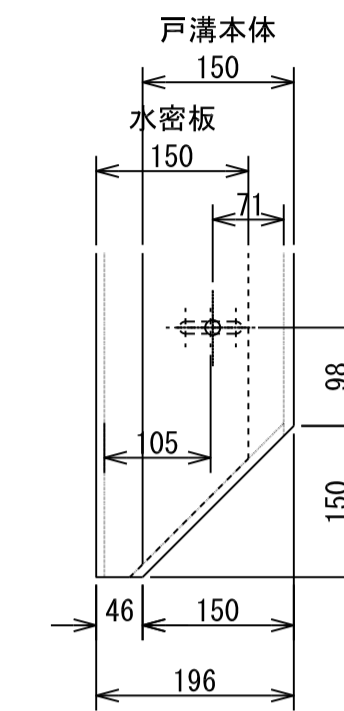
戸溝詳細図(1)
S=1/6



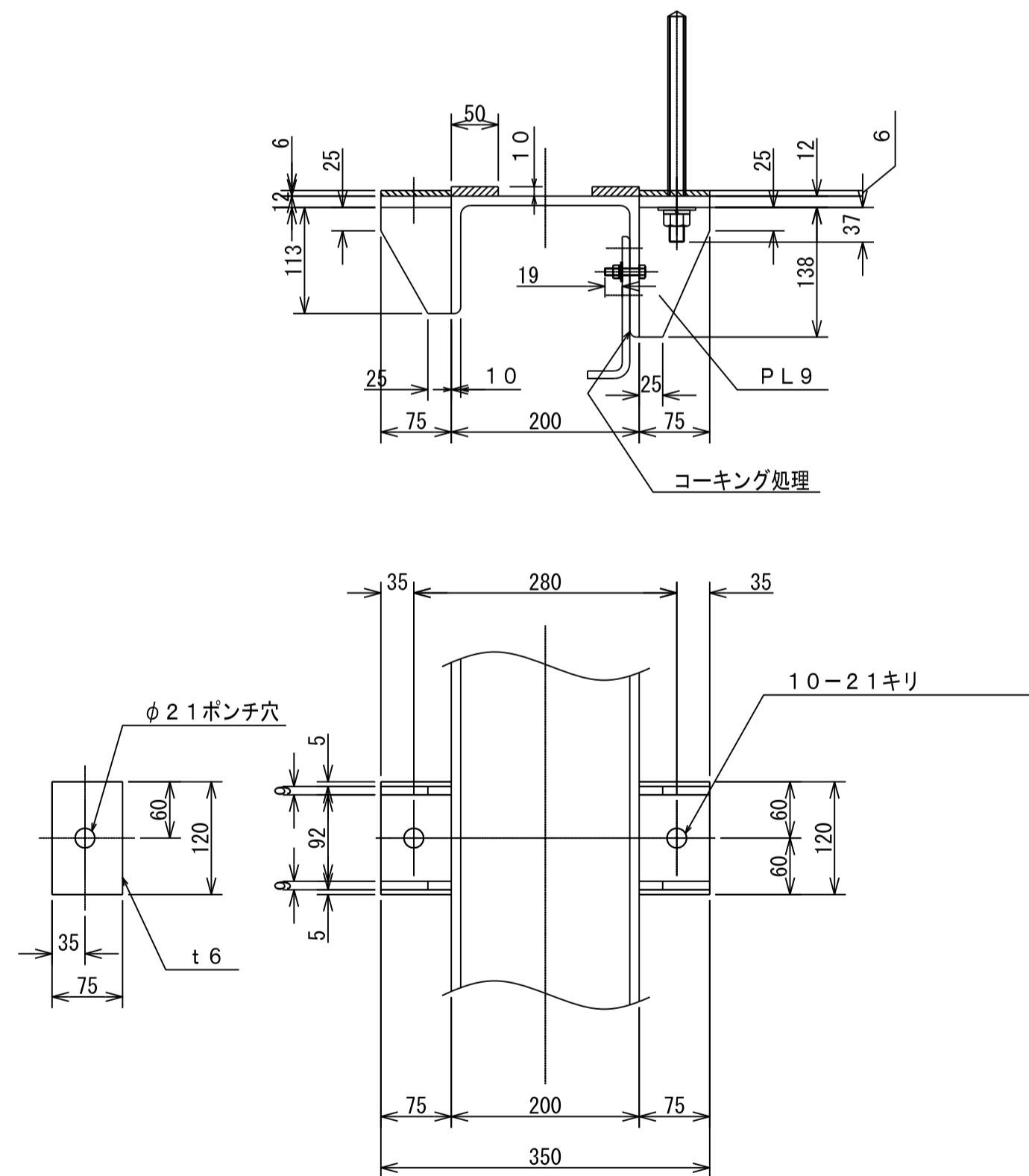
右岸端部平面図



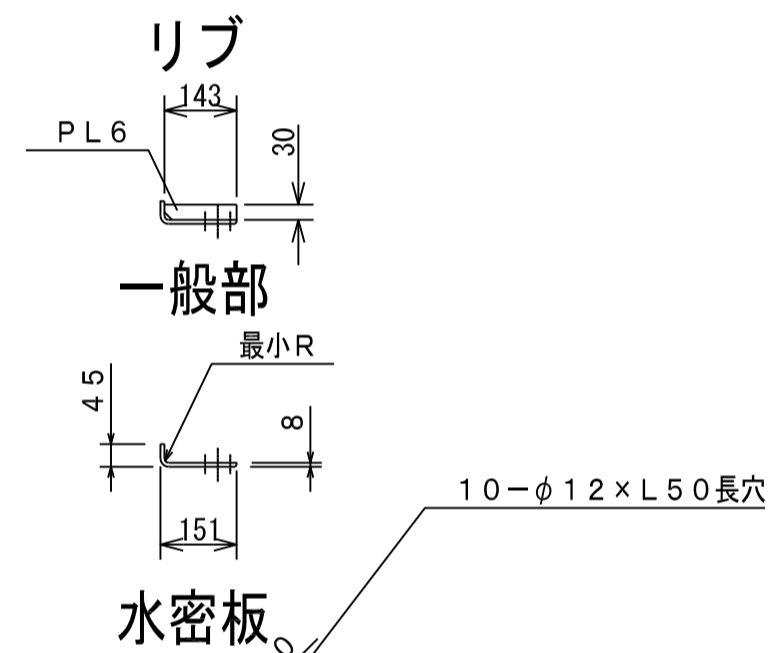
先端詳細図
S=1/10



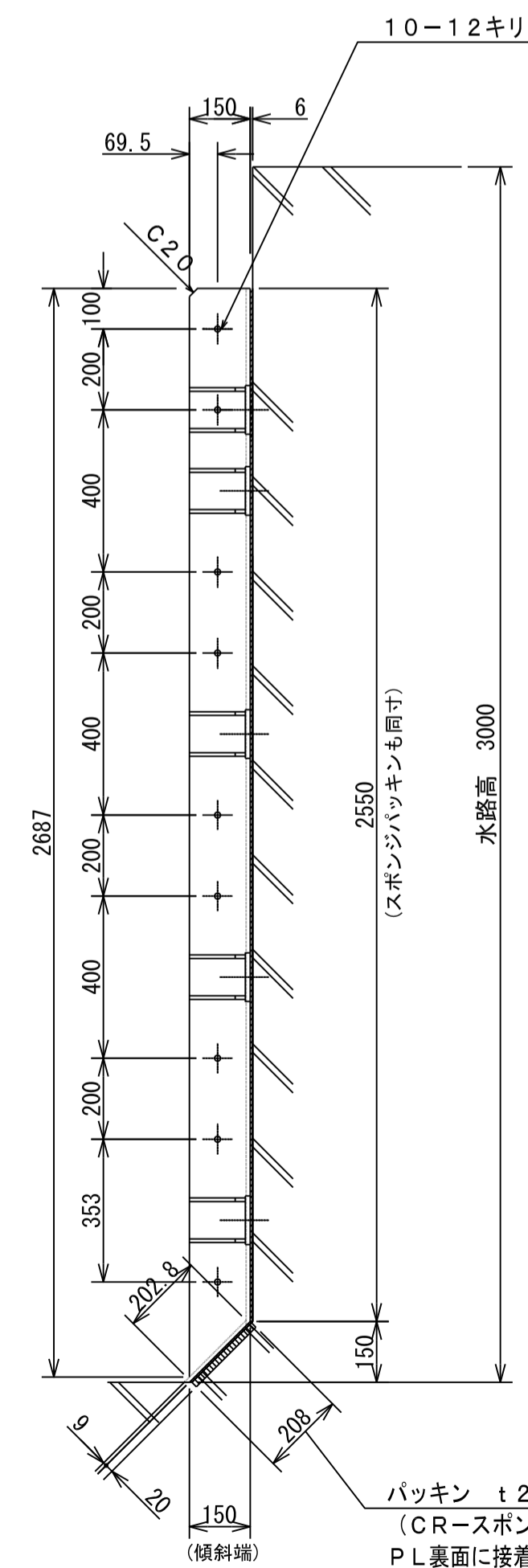
戸溝詳細図(2)
S=1/6



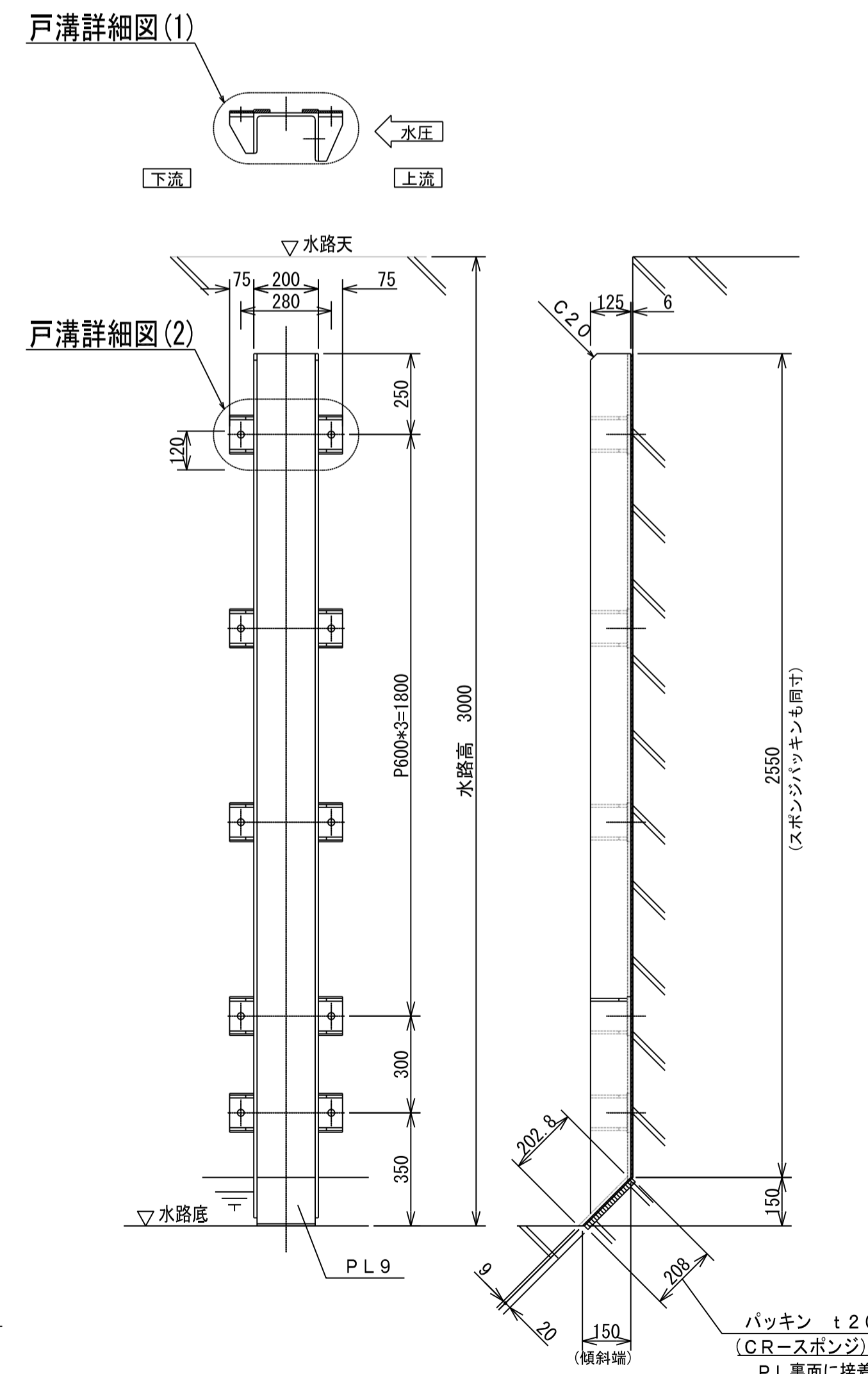
a-a断面
S=1/15



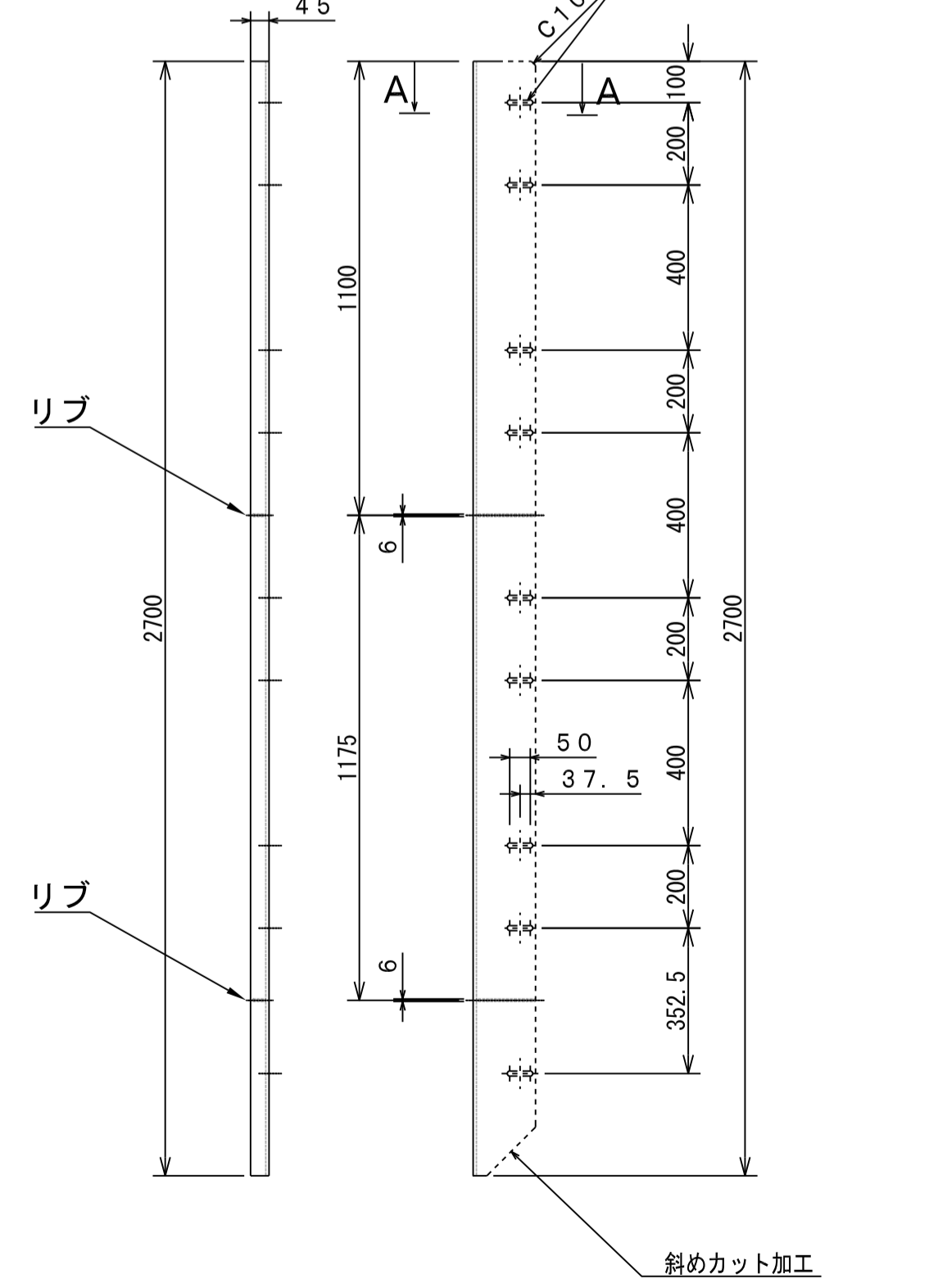
b-b断面
S=1/15



d-d断面
S=1/15



c-c断面
S=1/15



- 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
- 鋼材
1) 特記なき材質はSUS304とする。
2) 特記なき溶接部は $\sqrt{0.7t}$ を標準とする。
- 施工について
削孔位置は竣工図に基づき決定している。そのため、鉄筋探索等で既設鉄筋と干渉することが判明した場合は、監督員と協議の上、位置変更を行うこと。
- 製作、施工
製作、施工は現地計測後、製作図面、施工図面を製作し、監督員の承諾を得るものとする。
寸法のない形溶接の表示のある箇所は完全溶け込み溶接とする。
- 仕上げ
仕上げは、すべて酸洗い仕上げとする。
- アンカー
あと施工アンカーは接着系注入方式を用いるものとする。
アンカー削孔時は、既設鉄筋配置及び部材厚を確認の上、削孔位置図を作成し、監督職員の承諾を得て削孔するものとする。

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

土器川調節堰 共通仮設 戸溝設置

1箇所当り

名 称	計 算 式 ・ 略 図				単 位	数 量
戸溝設置	※積算資料R5.9 P48 鋼材重量参照					
SUS鋼材1m2当り重量	式 (面積)	面積	1枚重量	1m2当り重量		
PL6 水密版リブ	t=6 1.000 × 2.000	2.000	95.20 kg	47.60 kg		
PL8 水密版	t=8 1.000 × 2.000	2.000	127.00 kg	63.50 kg		
PL9 本体ハンチ,ブラケット	t=9 1.000 × 2.000	2.000	143.00 kg	71.50 kg		
PL10 その他	t=10 2.438 × 6.100	15.000	1,179.00 kg	78.60 kg		
鋼材重量 左岸側	N= 1			1	基	
SUS304						
PL10	上流側 本体	A= 366218 mm2 / 1000000		0.366 m2		
		kg 0.366 × 78.600		28.768 kg		
PL10	下流側 本体	A= 299348 mm2 / 1000000		0.299 m2		
		kg 0.299 × 78.600		23.501 kg		
PL10	壁部 本体	A= 509454 mm2 / 1000000		0.509 m2		
		kg 0.509 × 78.600		40.007 kg		
PL9	壁部 ハンチ	A= 0.180 × 0.216		0.03888 m2		
		kg 0.03888 × 71.500 × 2枚		5.560 kg		
PL8	水密版 本体	A= 2.70 m × 0.189 m -				
		0.118 m × 0.118 m × 0.5		0.503 m2		
		kg 0.503 × 63.500		31.941 kg		
PL6	水密板 リブ	A= 0.030 × 0.143		0.00429 m2		
		kg 0.00429 × 47.600 × 2枚		0.408 kg		
PL9	ブラケット 壁	A= 9000 mm2 / 1000000		0.00900 m2		
	上流	kg 0.00900 × 71.500 × 1枚		0.644 kg		
	ブラケット 支持部	A= 7525 mm2 / 1000000		0.00753 m2		
	上流	kg 0.00753 × 71.500 × 2枚		1.077 kg		
PL9	ブラケット 壁	A= 9000 mm2 / 1000000		0.00900 m2		
	下流	kg 0.00900 × 71.500 × 1枚		0.644 kg		
	ブラケット 支持部	A= 6275 mm2 / 1000000		0.00628 m2		
	下流	kg 0.00628 × 71.500 × 2枚		0.898 kg		
	合計面積	片面		1.752 m2	m2	1.752
	酸洗い面積	両面		3.504 m2	m2	3.504
	合計重量			133.4 kg	t	0.133
はつり	壁部	A= (2.547+0.216) × 0.20		0.55 m2	m2	0.55
無収縮モルタル		A= (2.547+0.216) × 0.20		0.55 m2	m2	
厚30mm		V= 0.55 × 0.03		0.017 m3	m3	0.02
アンカー						
M16	N= 10			10 本	本	10
削孔φ20mm						
L=165mm	N= 10			10 箇所	箇所	10.0

土器川調節堰 共通仮設 戸溝設置

1箇所当り

名称

計算式・略図

単位

数量

部材図

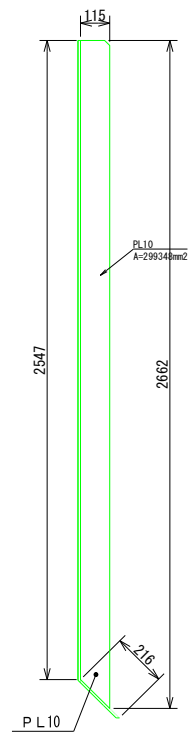
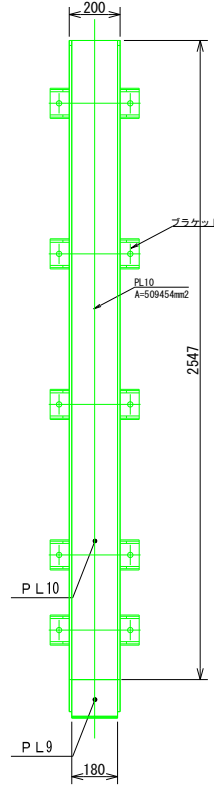
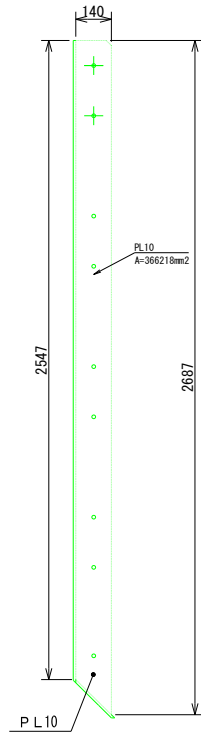
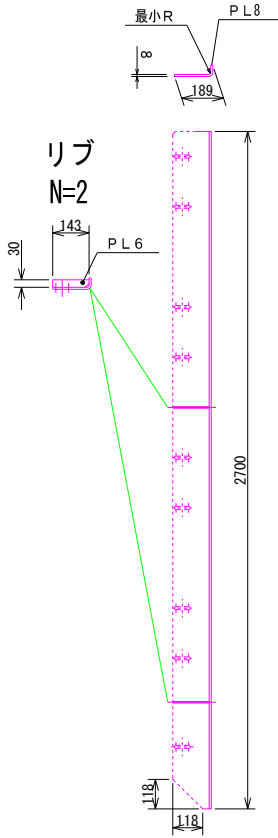
水密板

上流側面

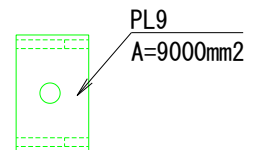
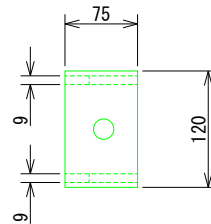
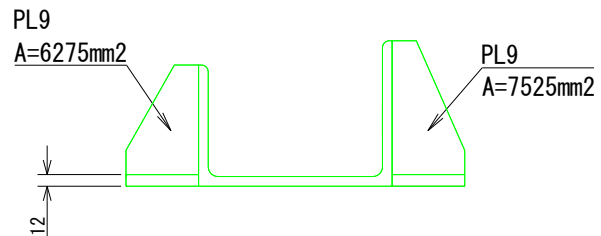
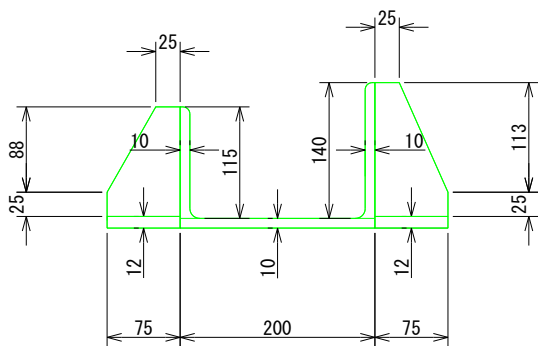
壁面側

下流側面

戸溝



ブラケット

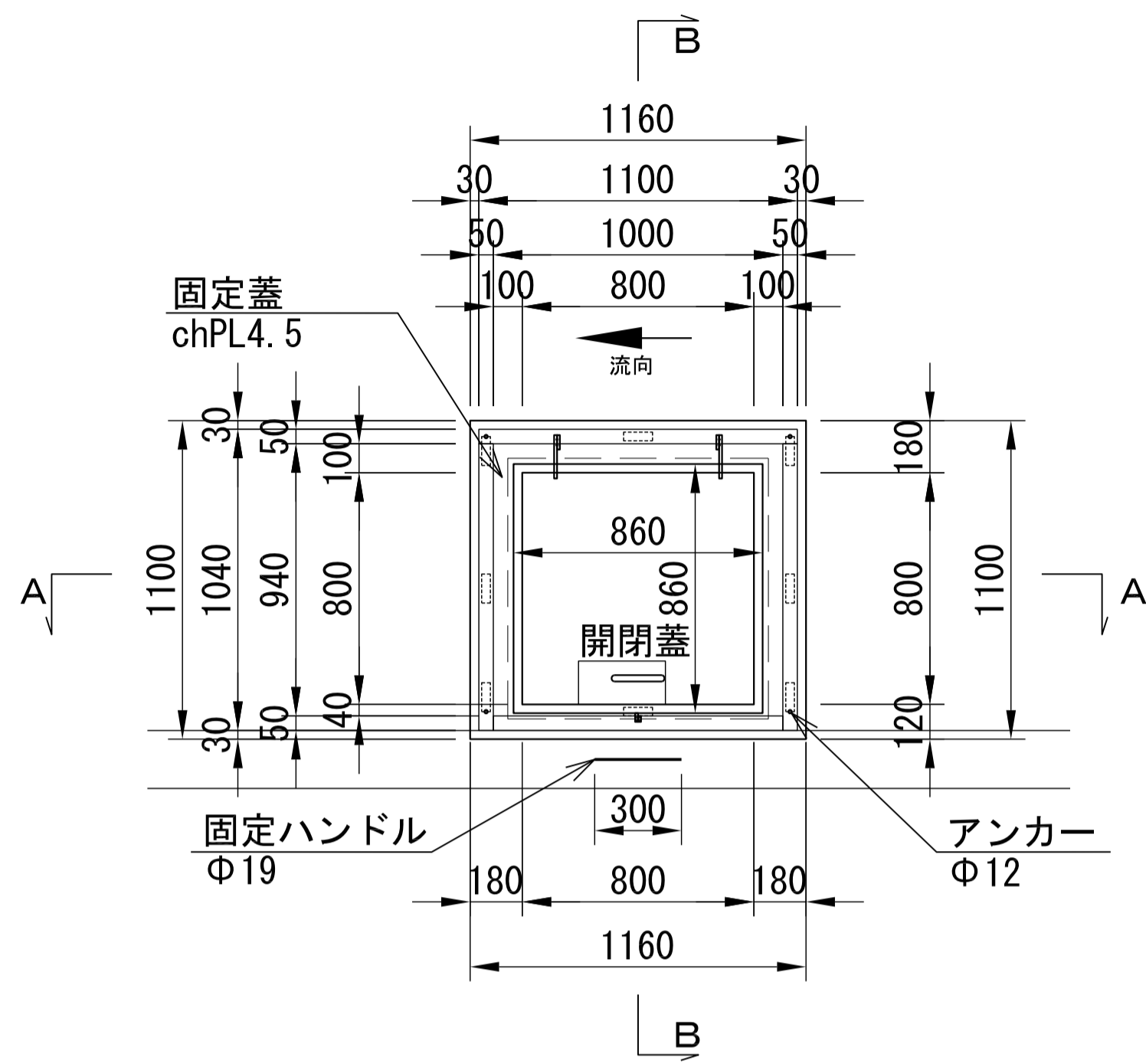


撤去復旧工 復旧詳細図 (1)

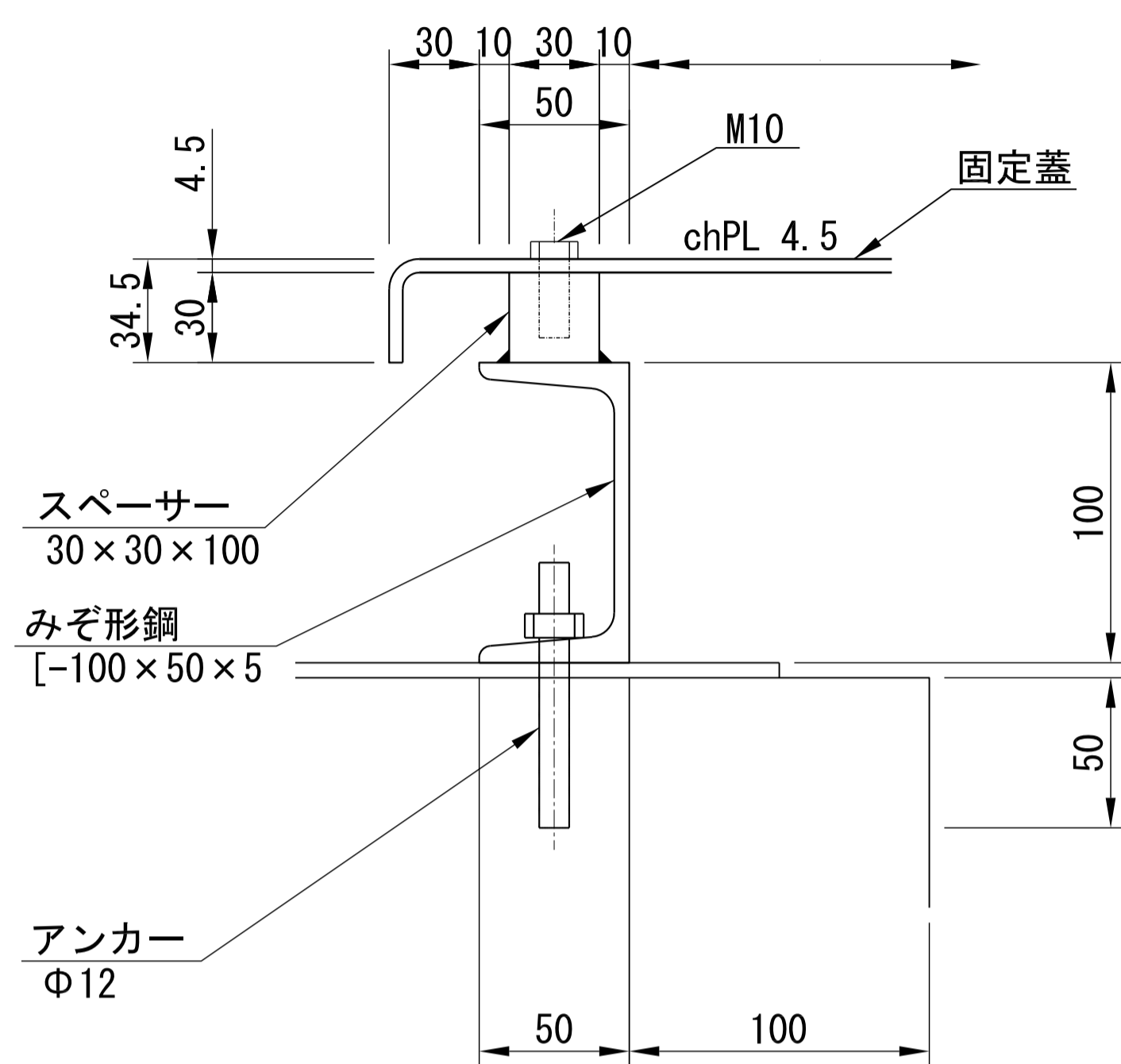
神田調節堰

S=図示

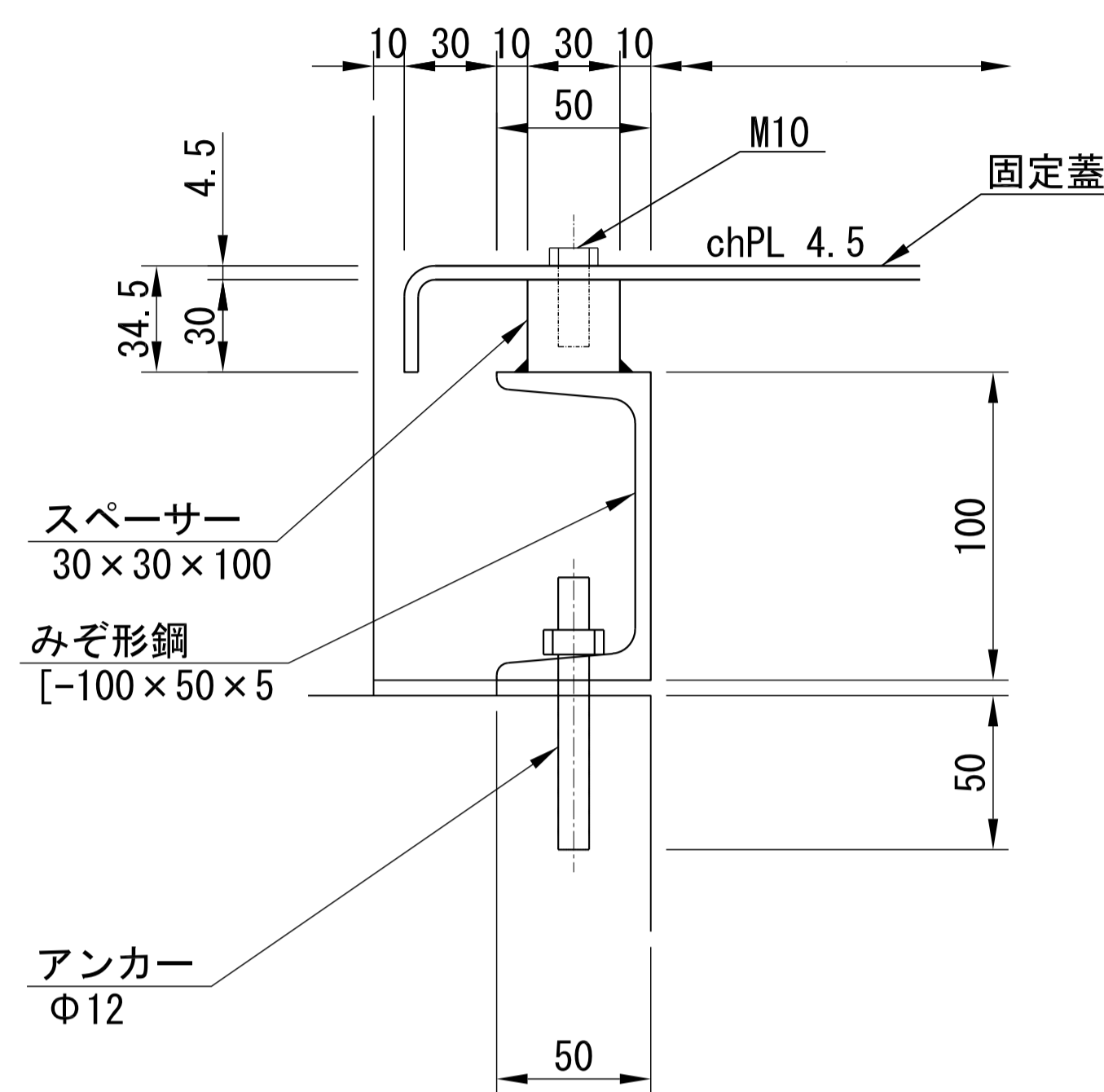
平面図 S=1/20



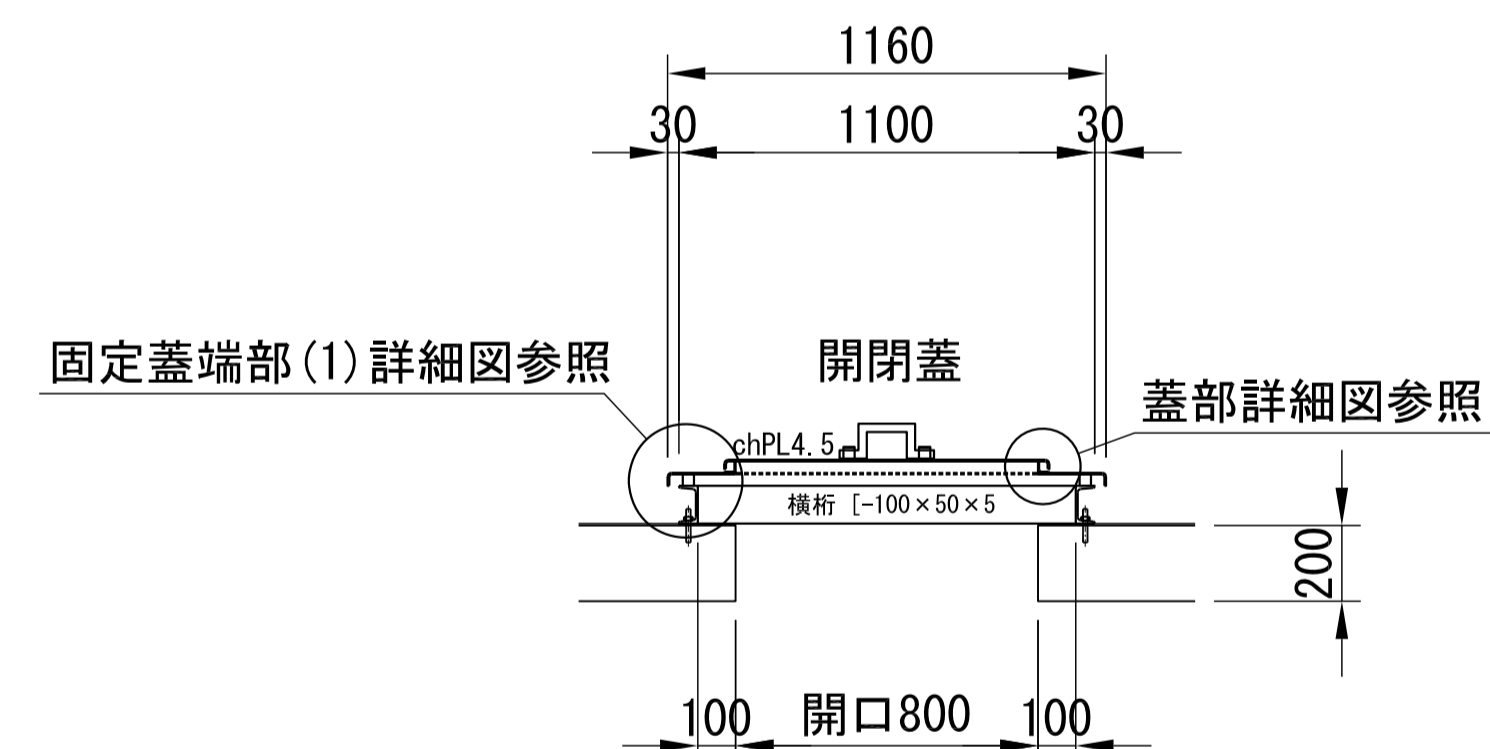
固定蓋端部(1)詳細図 S=1/2



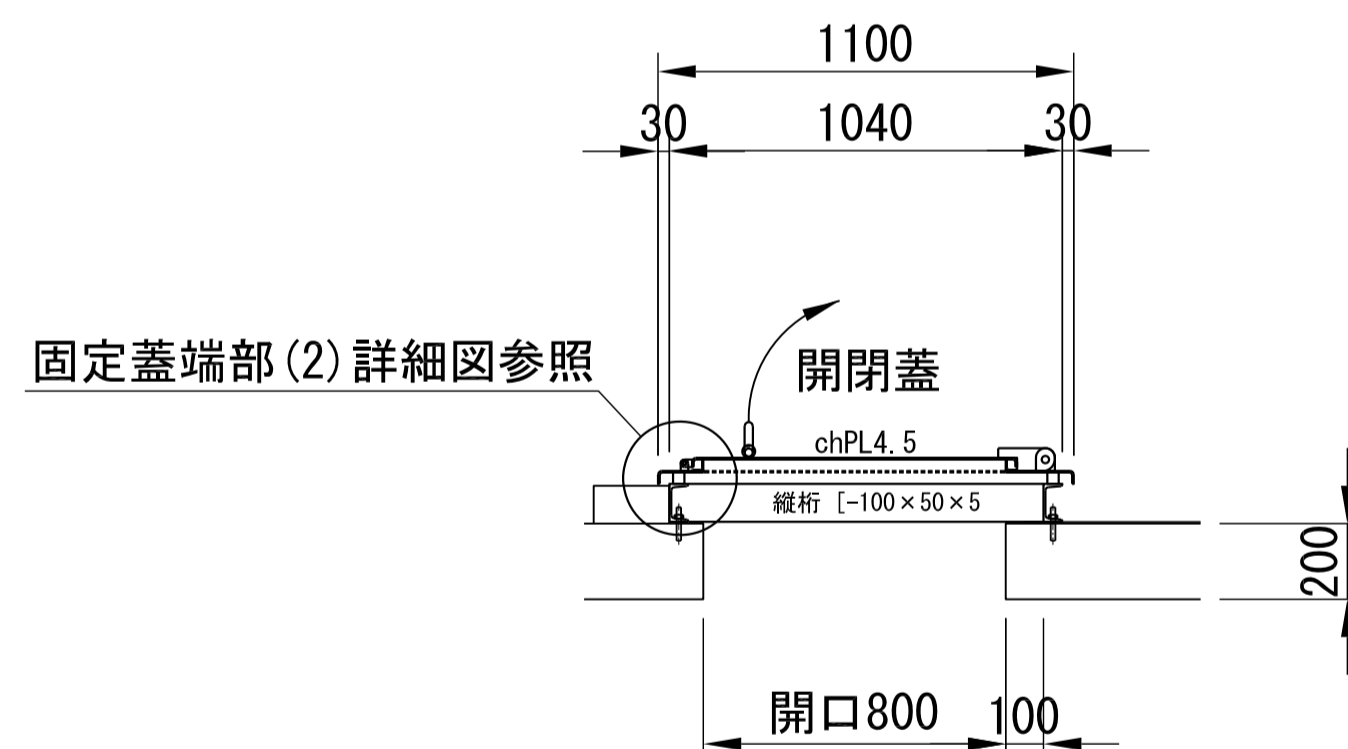
固定蓋端部(2)詳細図 S=1/2



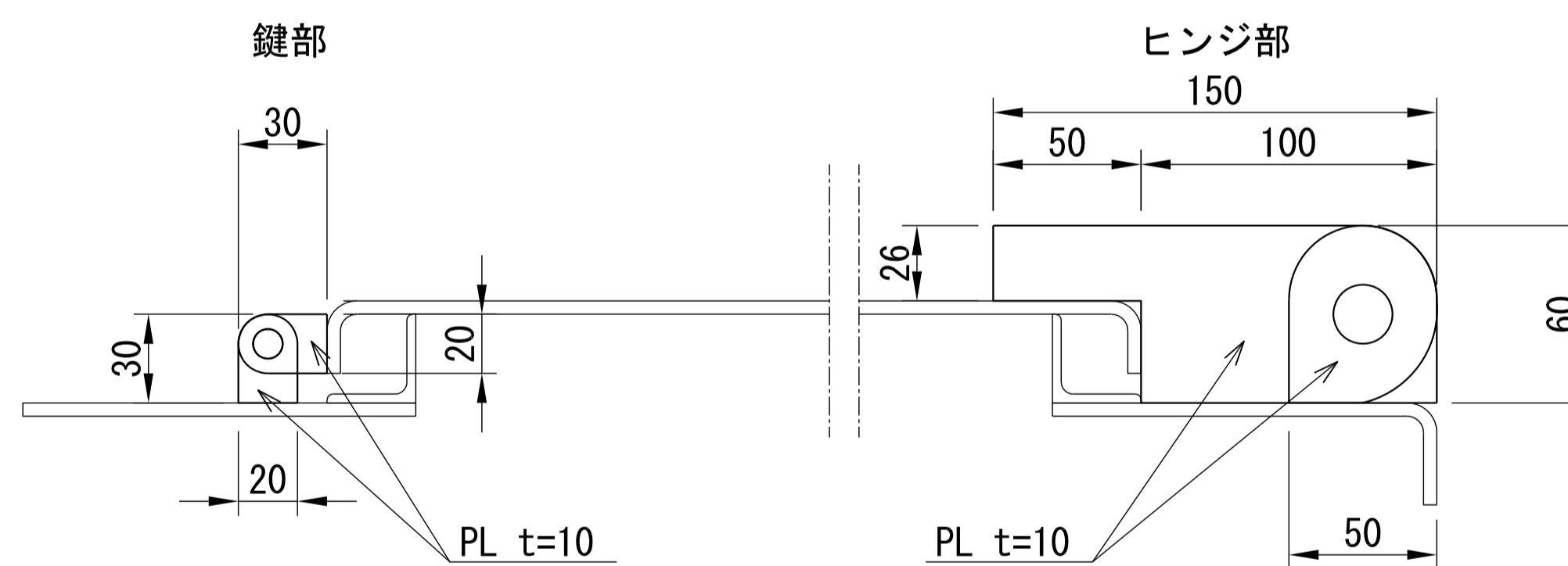
A-A断面図 S=1/20



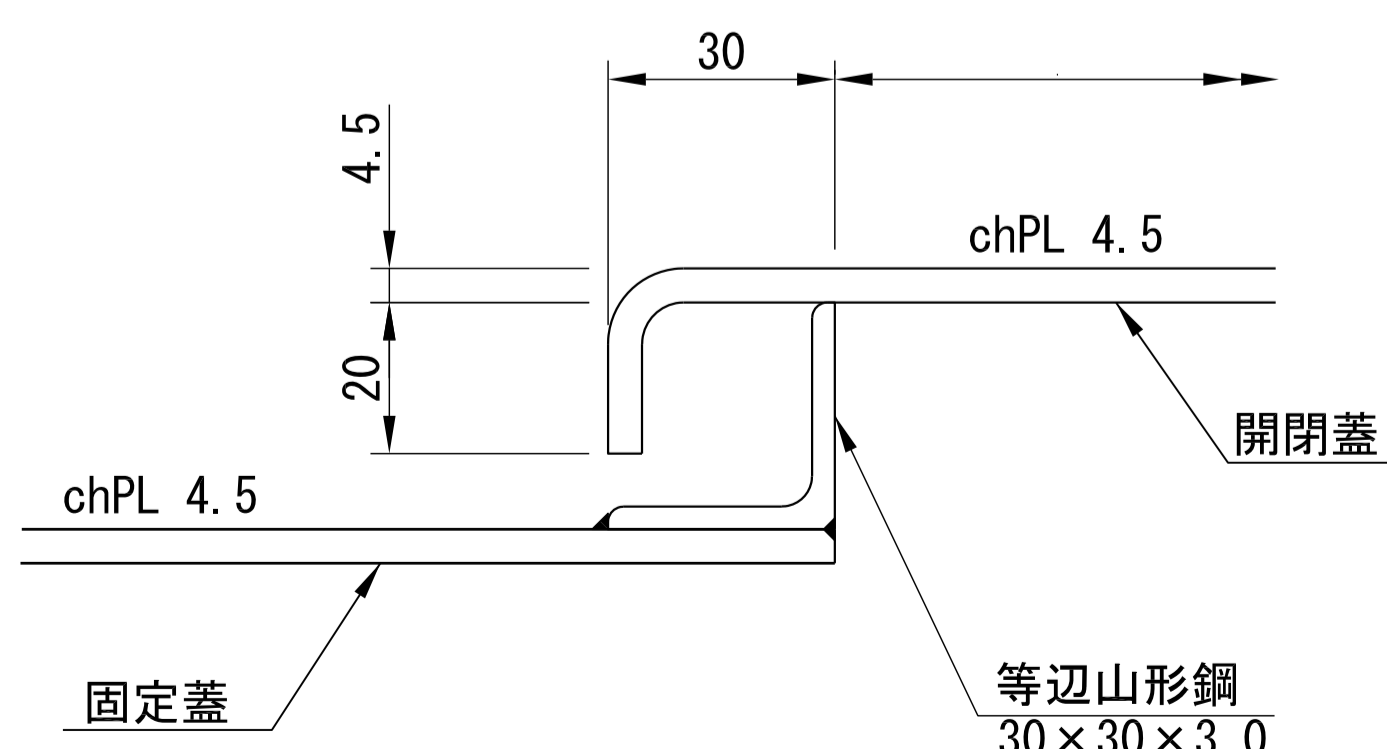
B-B断面図 S=1/20



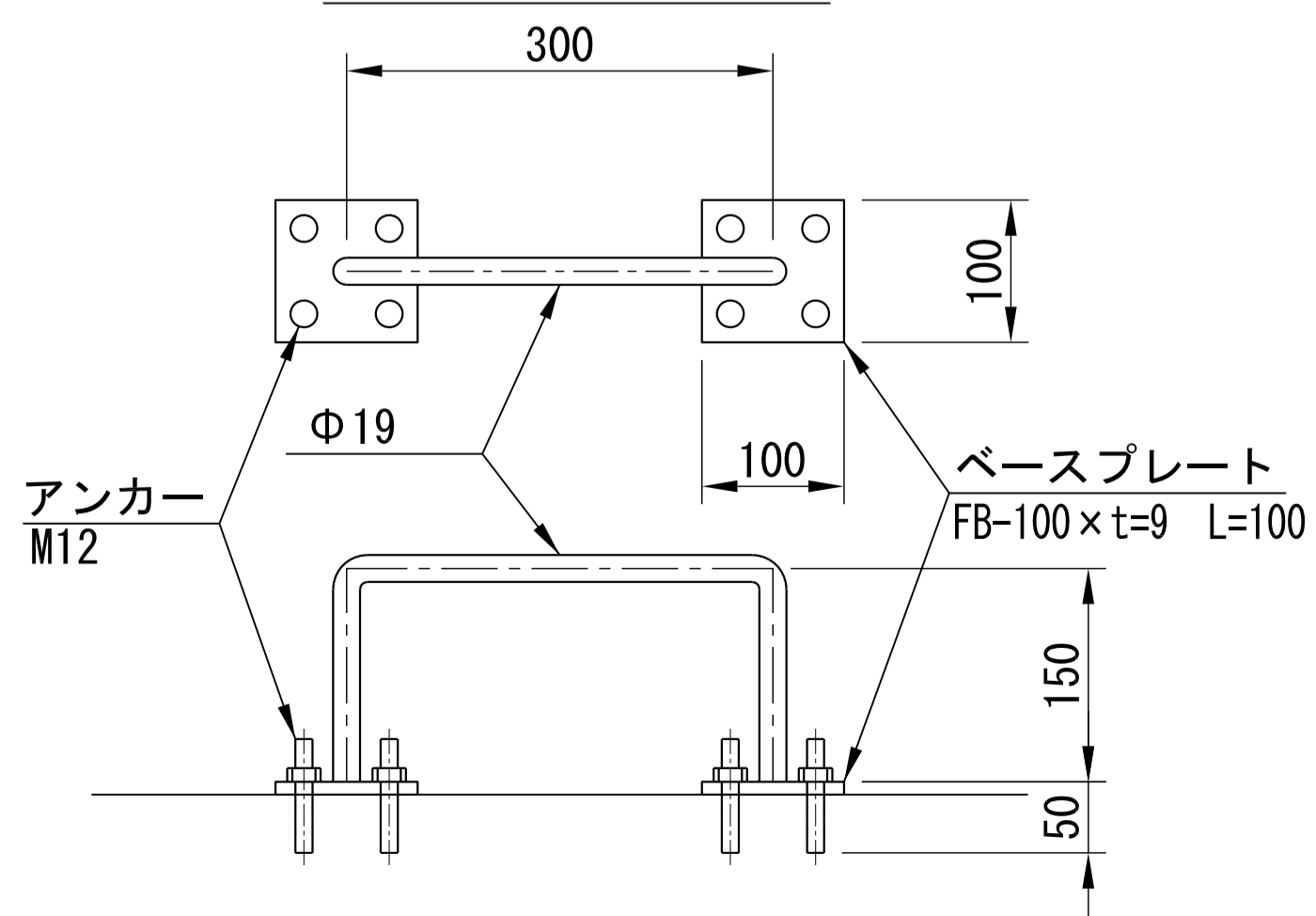
開閉蓋固定金具詳細図 S=1/2



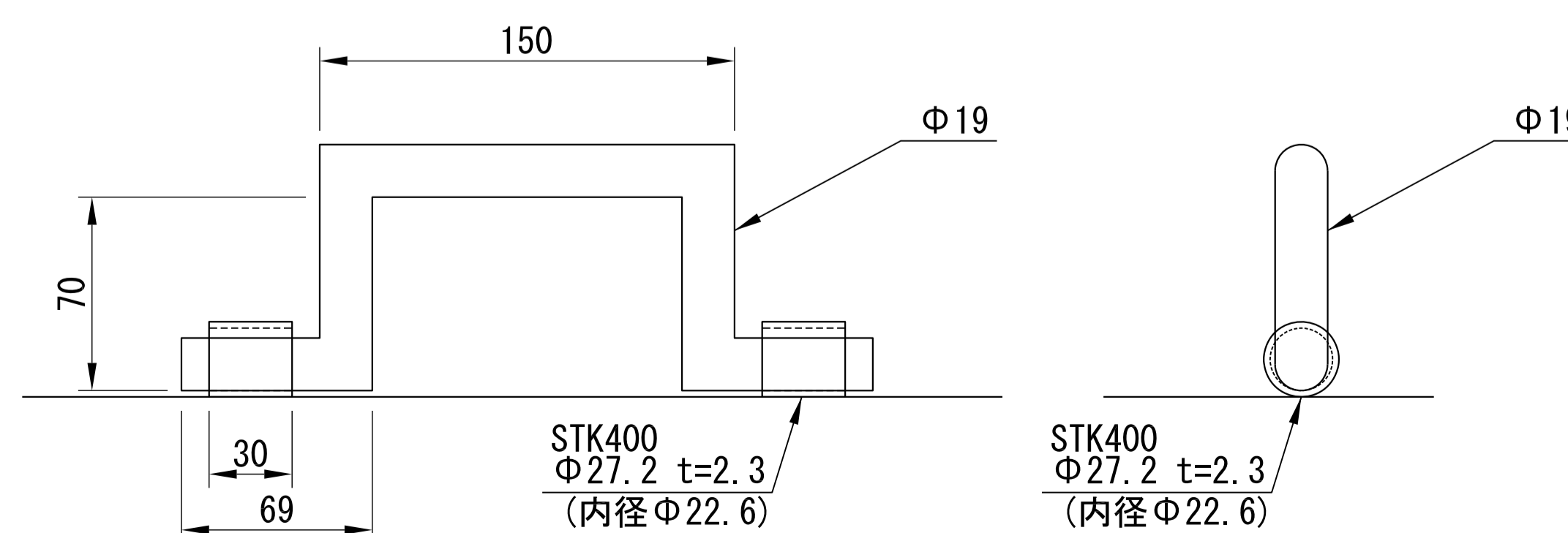
蓋部詳細図 S=1/0.5



固定ハンドル詳細図 S=1/4



蓋部把手詳細図 S=1/2

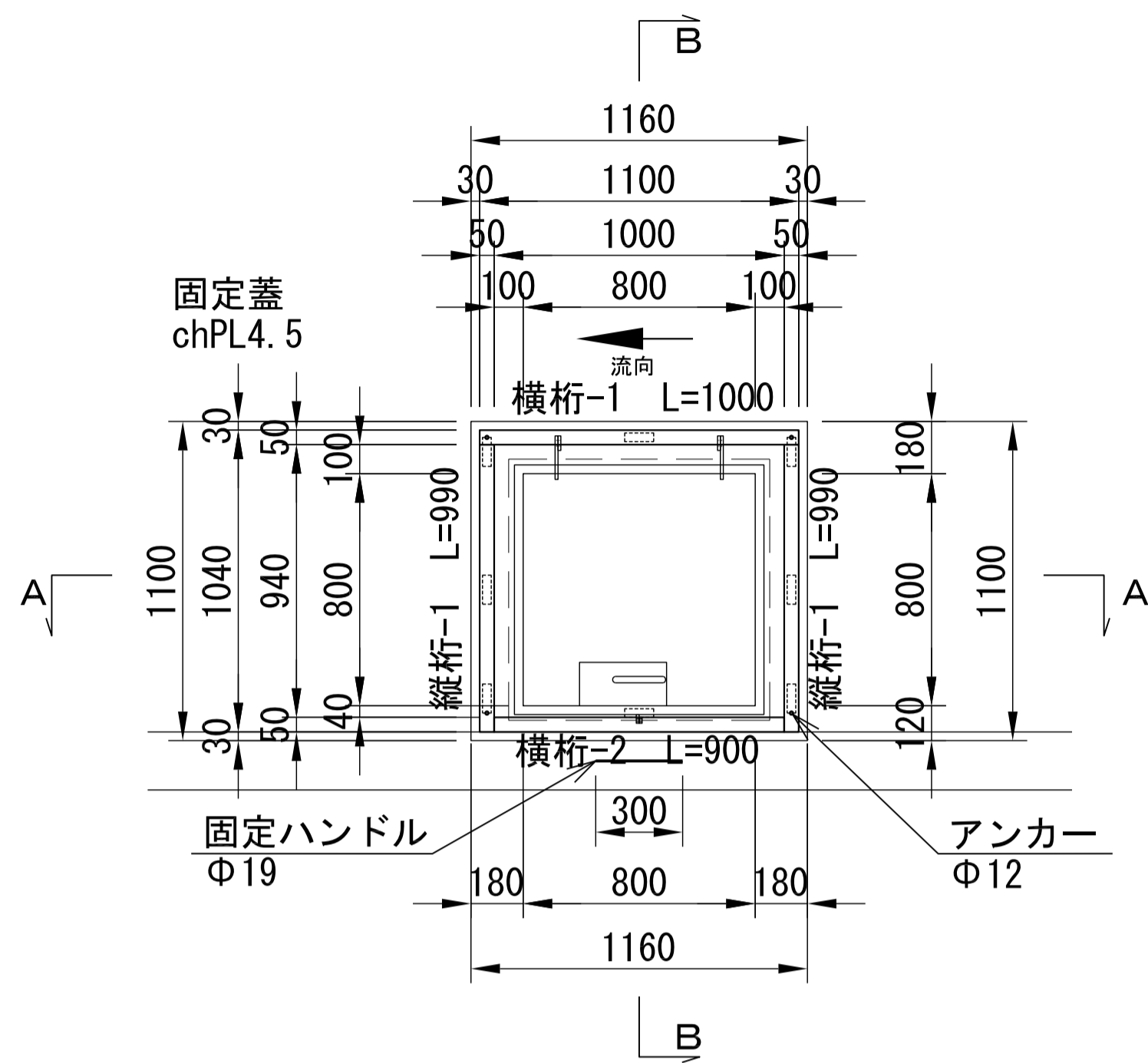


2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 固定蓋と桁の間には、スペーサーを設けるものとする。
4. 固定蓋と桁は、ボルト接合とし、ボルトはメッキ種とする。
なお、ボルトからの雨水侵入防止として、コーキングをボルト周りに施すものとする。
5. 人が出入りする蓋には、雨水が固定蓋から侵入しないように、溶接により折り返し(L形鋼)を設けるものとする。
なお、人が出入りする開閉蓋にも折り返し設けるものとする。
6. 固定蓋端部にも、雨水の侵入防止として、折り返しを設けるものとする。
7. 材料指定なき場合は、すべて、SS400とし、溶融亜鉛メッキ(HDZT63)仕様とする。

工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

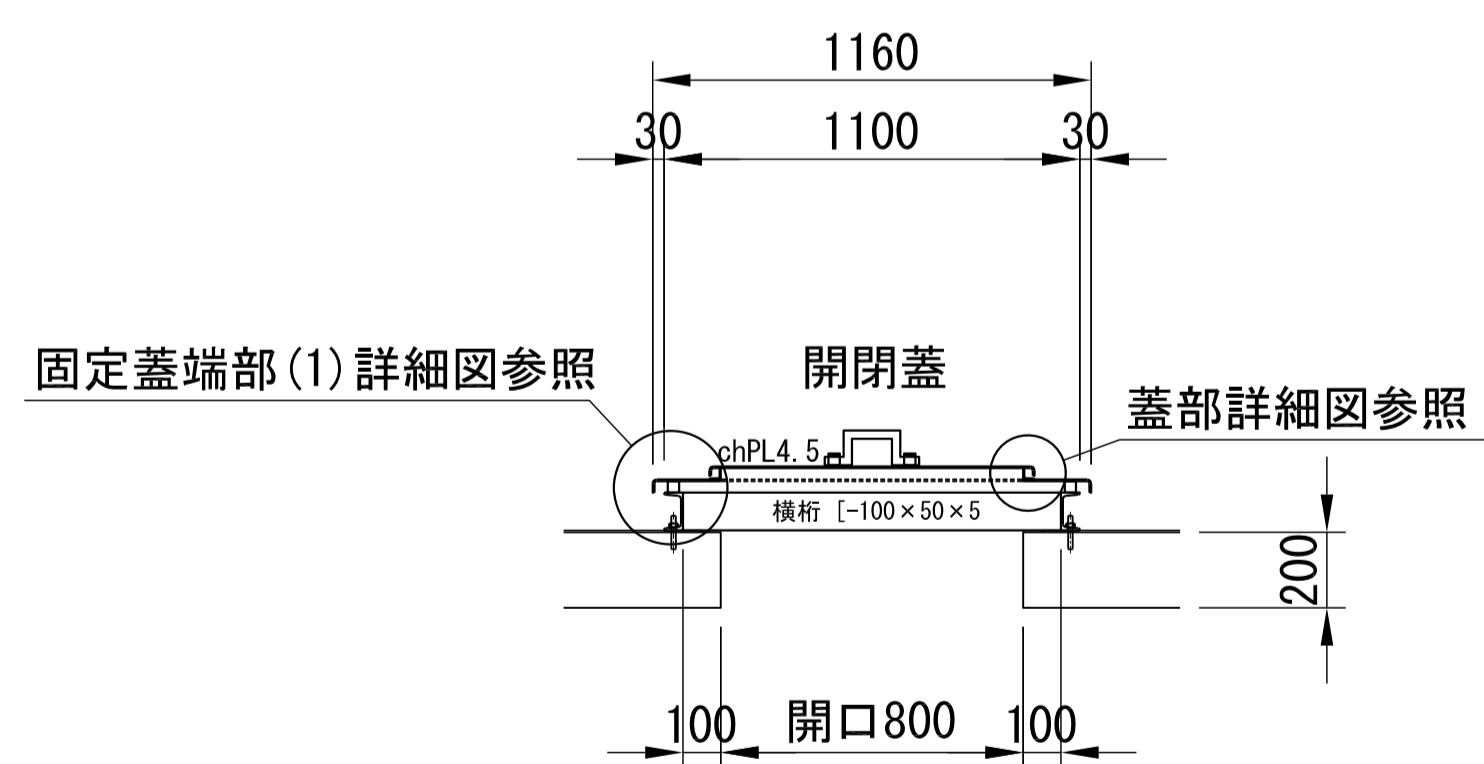
撤去復旧工 復旧詳細図 (2)
神田調節堰 S=図示

平面図 S=1/20

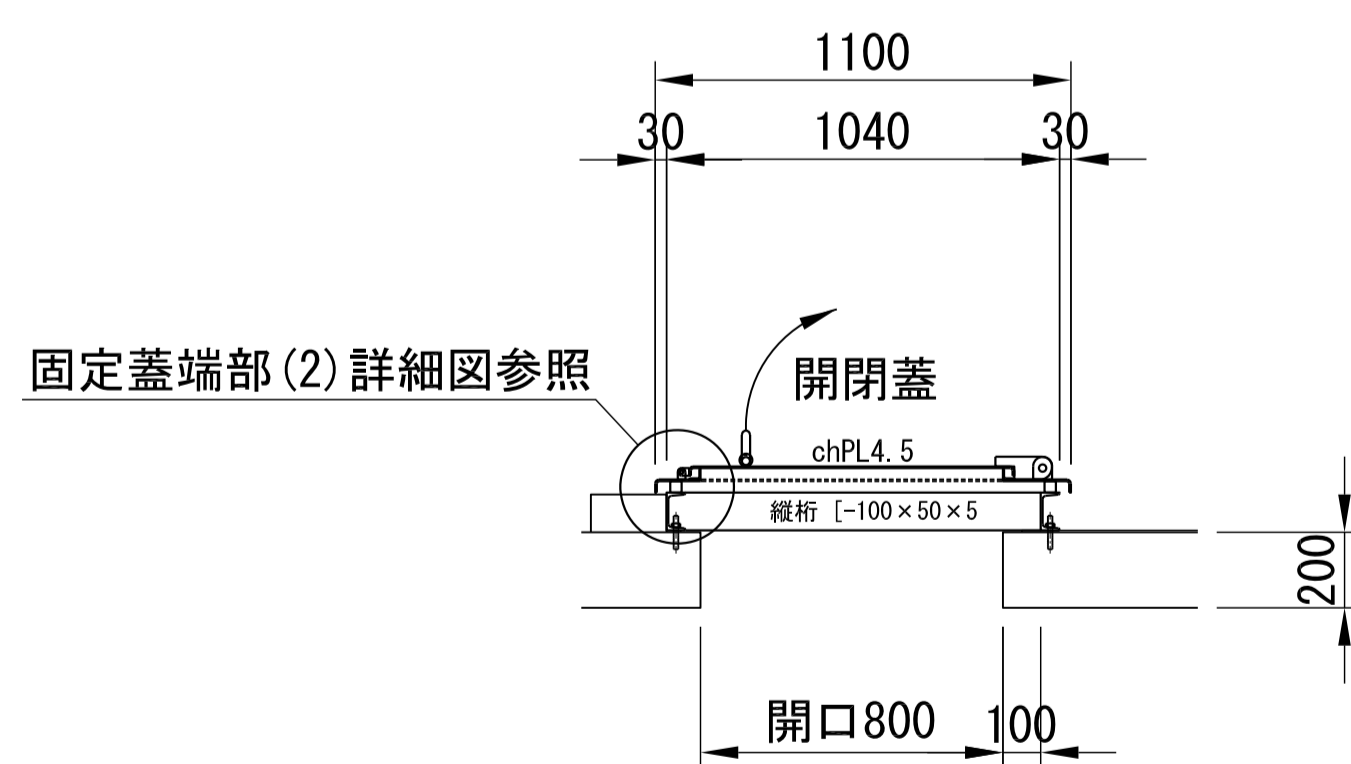


2. 単位
測点、標高は、m単位で示し、構造寸法は特に示さない限りmm単位で示す。
3. 固定蓋と桁の間には、スペーサーを設けるものとする。
4. 固定蓋と桁は、ボルト接合とし、ボルトはメッキ種とする。
なお、ボルトからの雨水侵入防止として、コーキングをボルト周りに施すものとする。
5. 人が出入りする蓋には、雨水が固定蓋から侵入しないように、溶接により折り返し(L形鋼)を設けるものとする。
なお、人が出入りする開閉蓋にも折り返し設けるものとする。
6. 固定蓋端部にも、雨水の侵入防止として、折り返しを設けるものとする。
7. 材料指定なき場合は、すべて、SS400とし、溶融亜鉛メッキ(HDZT63)仕様とする。

A-A断面図 S=1/20



B-B断面図 S=1/20



工事名	
名称	見積参考資料
登録番号	整理番号
独立行政法人 水資源機構 香川用水管理所	

ビット蓋

	名称	材質	形状寸法	数量	単位重量	脚注	重量(kg)
	<蓋関係>						
	【固定蓋】						
【しま鋼板】	固定蓋	SS400	$A=(1.100 \times 1.160)+(1.100 \times 2+1.160 \times 2) \times 0.03-(0.800 \times 0.800)=0.772$ $A=0.8m^2/枚$	1	37.03kg/m ²	※注1	30
	小計						30kg
	【開閉蓋】						
【しま鋼板】	開閉蓋	SS400	$A=(0.860 \times 0.860)+(0.860 \times 4 \times 0.02)=0.808$ $A=0.8m^2/枚$	1	37.03kg/m ²	※注1	30
	小計						30kg
【等辺山形鋼】	蓋受(開口部)	SS400	L=30×30×3 L=800×4=3200 L=3.200m/本	1	1.36kg/m	※注2	4
	小計						4kg
【普通鋼板】	蓋(ヒンジ部)	SS400	PL-10mm $A=(0.150 \times 0.060-0.0345 \times 0.050)+(0.050 \times 0.060 \times 2)=0.010$ $A=0.01m^2/枚$	2	78.349kg/m ²	※注3	2
【普通鋼板】	蓋(鍵部)	SS400	PL-10mm $A=(0.030 \times 0.020+0.030 \times 0.020)=0.001$ $A=0.001m^2/枚$	1	78.349kg/m ²		0
	小計						2kg
【丸鋼】	把手	SS400	Φ19 L=150+(70×2)+(72×2)=434 L=0.434m/本	1	2.25kg/m	※注4	1
【一般構造用鋼管】	把手固定金具	STK400	20A(外径Φ27.2) t=2.3 L=30 L=0.030m/本	2	1.41kg/m	※注5	0
	小計						1kg
【普通鋼板】	スペーサー	SS400	PL-t 30×B30×L100 $A=0.03 \times 0.100=0.003$ $A=0.003m^2/枚$	8	235.65kg/m ²	※注6	6
	小計						6kg
	蓋関係計						73kg
	<桁関係>						
【溝形鋼】	横桁-1	SS400	[-100×50×5 L=1100 L=1.100m/本	1	9.36kg/m	※注7	10
【溝形鋼】	横桁-2	SS400	[-100×50×5 L=1000 L=1.000m/本	1	9.36kg/m		9
【溝形鋼】	横桁-1	SS400	[-100×50×5 L=950 L=0.950m/本	2	9.36kg/m		18
	小計						37kg
	桁関係計						37kg
	<その他>						
【丸鋼】	固定ハンドル	SS400	Φ19 L=150+300+150=600 L=0.600m/本	1	2.25 kg/m	※注4	1
【平鋼】	ベースプレート	SS400	FB-100×t=9 L=100 L=0.100m/枚	2	7.06 kg/m	※注8	1
	小計						2 kg
	その他計						2 kg
	合計				総重量		112 kg

※注1

しま鋼板の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号P.42参照)

厚4.5mm 1.524×3.048 172.0kg/枚 の単位重量は、1枚の面積=1.524×3.048=4.645m² m²あたり =172.0kg/4.645m²=37.03kg/m² とする。

※注2

等辺山形鋼の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号P.32参照)

厚3.0mm×30×30 の単位重量は、mあたり =1.36kg/m とする。

※注3

普通鋼板の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号 P.40参照)

板厚10.0mm 914×1829 131.0kg/枚 の単位重量は、1枚の面積=0.914×1.829=1.672m² m²あたり =131kg/1.672m²=78.349kg/m² とする。

※注4

丸鋼の単位重量の算出 (建設物価R05.7月号 P.22参照)

Φ19 の単位重量は、mあたり =2.25kg/m とする。

※注5

一般構造用鋼管の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号 P.44参照)

20A(外径Φ27.2) t=2.3 の単位重量は、mあたり =1.41kg/m とする。

※注6

普通鋼板の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号P.40参照)

板厚30mm 914×1829 394.0kg/枚 の単位重量は、1枚の面積=0.914×1.829=1.672m² m²あたり =394kg/1.672m²=235.65kg/m² とする。

※注7

溝形鋼の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号P.34参照)

[100×50×5 の単位重量は、mあたり =9.36kg/m とする。

※注8

平鋼の単位重量の算出 (積算資料R05.7月号P.29参照)

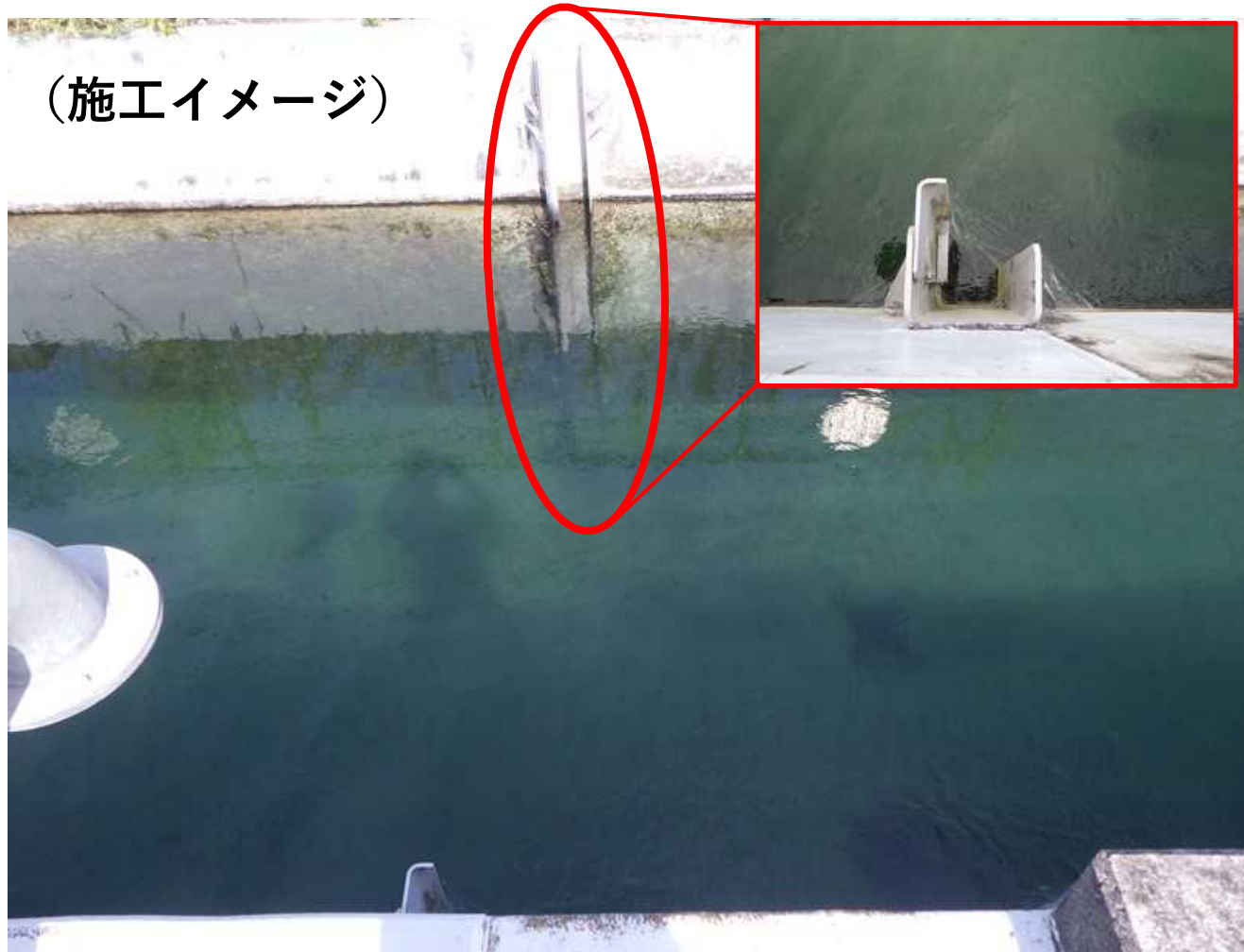
FB-100×t=9 の単位重量は、mあたり =7.06kg/m とする。

(参考)

鋼製戸溝 施工位置及び施工イメージ (土器川調節堰)



(施工イメージ)



(参考)

鋼製ピット蓋 施工位置及び施工イメージ (神田調節堰)



(現況)



(施工イメージ)

